



「新しいあたりまえ」で、新しい世界を創る

2026年3月期

決算説明会・ 個人投資家事業説明会

証券コード 8275

2026.6.2

CONTENTS 01

決算概要

- Financial Results Summary -

01- 2026年3月期 連結決算概要

02- 2027年3月期 連結業績見通し

決算概要

- Financial Results Summary -

01- 2026年3月期 連結決算概要

02- 2027年3月期 連結業績見通し

過去最高更新

- 経常利益（3期連続）
- 配当金（4期連続増配）

堅調に推移

- 企業ドクターによる
可視化伴走経営支援事業

主な減収要因

- エルコム、アップルツリーの減収

特別損失

- 投資有価証券評価損 計上

売上減ながら、売上総利益は4.4%増加
 売上総利益率は2.1ポイントアップ

(百万円)	2026年3月				2025年3月		2026年3月	
	実績	売上比	前期比	期初予想比	実績	売上比	期初予想	売上比
売上高	71,524	100.0%	△1,104 (△1.5%)	△4,475 (△5.9%)	72,629	100.0%	76,000	100.0%
売上総利益	26,362	36.9%	1,111 (4.4%)	—	25,250	34.8%	—	—
販管費	22,637	31.7%	1,127 (5.2%)	—	21,510	29.6%	—	—
営業利益	3,724	5.2%	△16 (△0.4%)	△375 (△9.2%)	3,740	5.1%	4,100	5.4%
経常利益	4,045	5.7%	69 (1.8%)	△154 (△3.7%)	3,975	5.5%	4,200	5.5%
特別損失	770	1.1%	608 (376.6%)	—	161	0.2%	—	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,477	2.1%	△690 (△31.8%)	△722 (△32.8%)	2,168	3.0%	2,200	2.9%

主な減収の要因

期初予想比での主な要因はエルコム・第一工芸社・フォーバルテレコム・アップルツリーの4社

フォーバルビジネスグループ



エルコム



第一工芸社

フォーバルテレコム ビジネスグループ



フォーバルテレコム

総合環境コンサルティング ビジネスグループ



APPLE TREE

アップルツリー

セグメント別売上総利益増減額

	増減額
	(百万円)
フォーバルビジネスグループ	+582 (+1,056)
フォーバルテレコムビジネスグループ	+223
総合環境コンサルティングビジネスグループ	-70
人的資本経営	+376
合計	+1,111

販管費 前期比5.2%増

販売費

前期比：+81 < +10.4% >

・広告宣伝費等の増加

人件費

前期比：+649 < +4.6% >

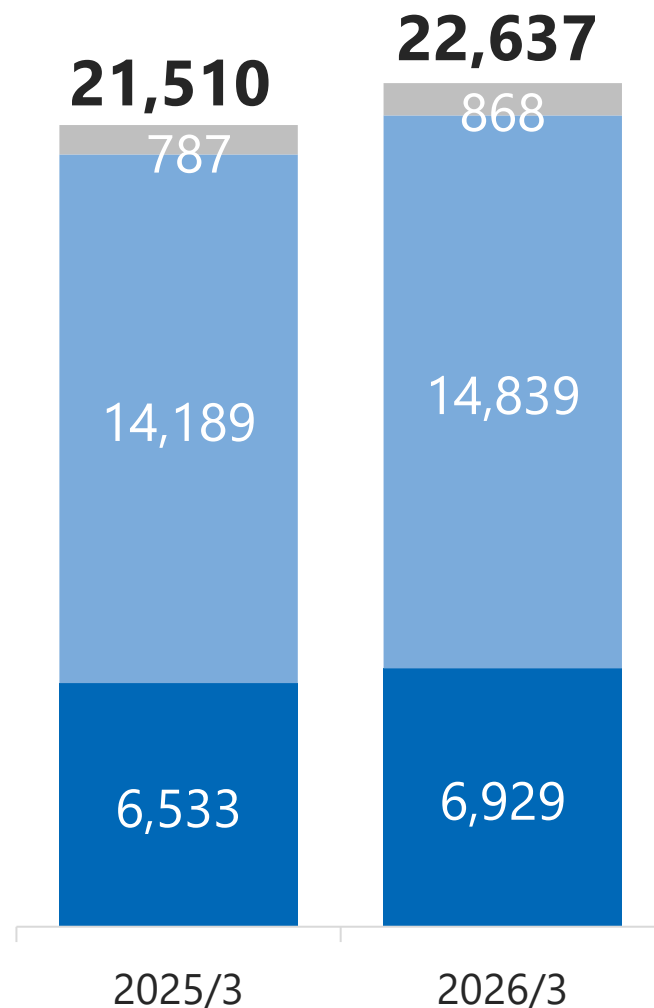
・従業員増、新連結子会社等の影響

経費

前期比：+396 < +6.1% >

・旅費交通費、情報処理費、地代家賃等の増加

単位：百万円



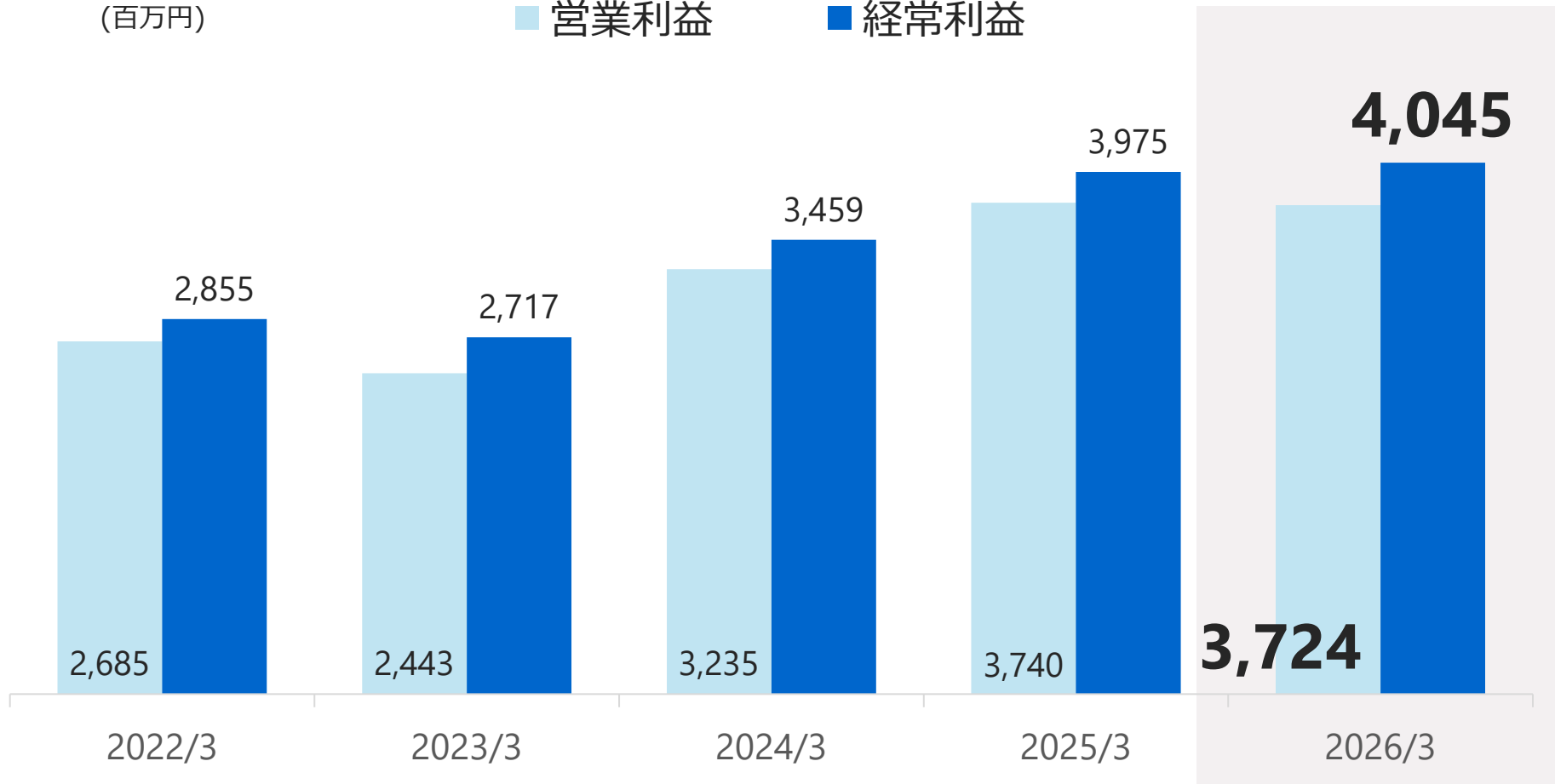
営業利益・経常利益の推移

2023年3月期～2026年3月期 年平均成長率14.2%、売上高は1.5倍

(百万円)

■ 営業利益

■ 経常利益



特別損失・当期純利益について

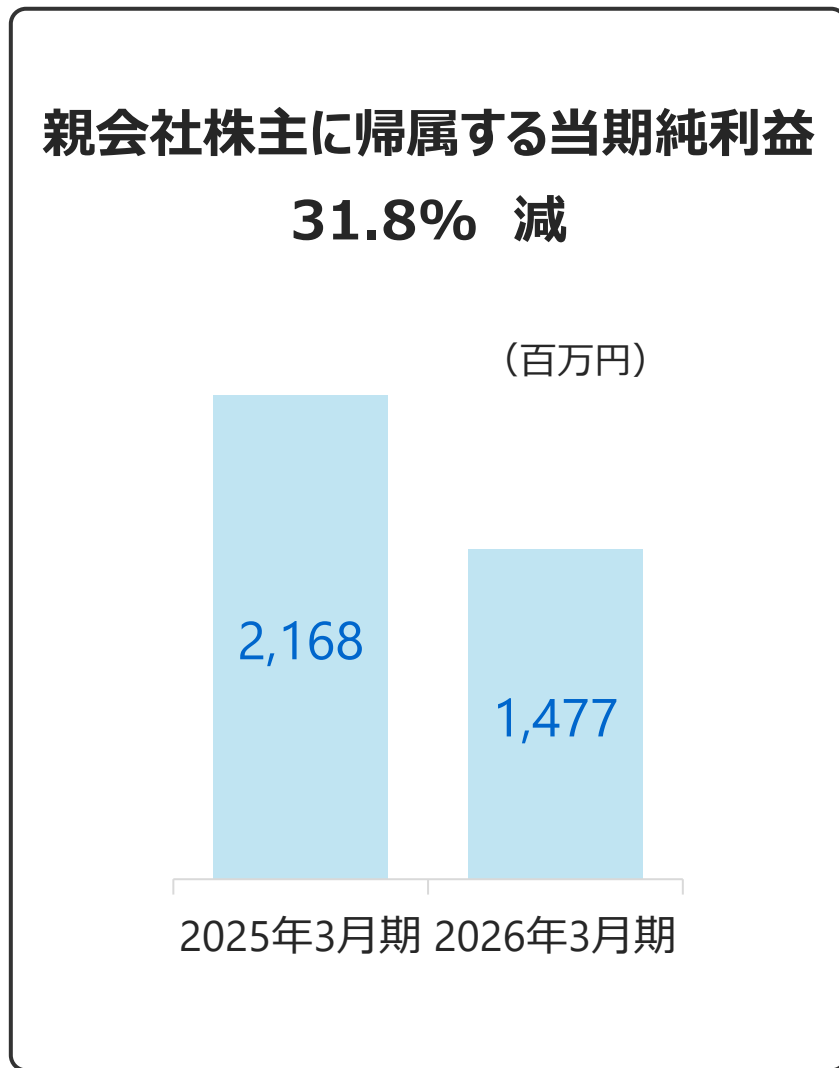
投資有価証券評価損
740百万円 計上

インフォメティス株式

2024年12月業務提携

【持株比率】
12.94%

【目的】
電力可視化サービス等の共同開発



新たに連結された子会社（2025年3月17日完全子会社化）

会社名

株式会社テレクト

所在地

石川県白山市茶屋1-26 NTT松任ビル1F

**事業内容**

北陸三県における企業ドクター事業

資本金

1,000万円

設立年度

2004年

セグメント構成

フォーバル ビジネスグループ

20社

可視化伴走経営支援事業

- アドバイスによる契約フィー
- 解決ツールの提供によるフィー 等

株式会社フォーバル/ピー・ビー・コミュニケーションズ株式会社/株式会社フォーバルテクノロジー/株式会社プロセス・マネジメント/
株式会社フォーバル・リアルストレート/株式会社フォーキャスト/株式会社第一工芸社/
株式会社三好商会/株式会社えすみ/株式会社フォーバルクロスギア/株式会社エルコム/株式会社ネットリソースマネジメント/
株式会社アベヤス/株式会社進駢堂販売/
株式会社奈良事務機/株式会社三知/株式会社Meisin /株式会社トライ・エックス/
株式会社FISソリューションズ/**株式会社テレクト**

フォーバルテレコム ビジネスグループ

3社

可視化伴走経営支援事業

- 情報通信分野のサービス、ツール等の開発、提供

株式会社フォーバルテレコム/タクトシステム株式会社/株式会社保険ステーション

総合環境コンサルティング ビジネスグループ

1社

可視化伴走経営支援事業

- 環境分野のサービス、ツール等の開発、提供

株式会社アップルツリー

人的資本経営

4社

可視化伴走経営支援事業

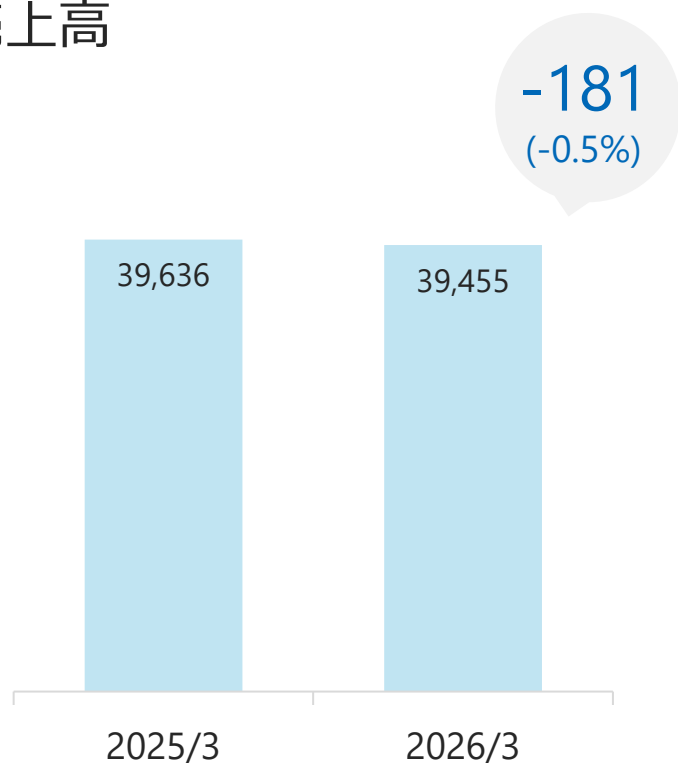
- 人材/教育分野のサービス、ツール等の開発、提供

株式会社アイテック/株式会社フォーバルカエルワーク/株式会社タニタヘルスリンク/エフピーステージ株式会社

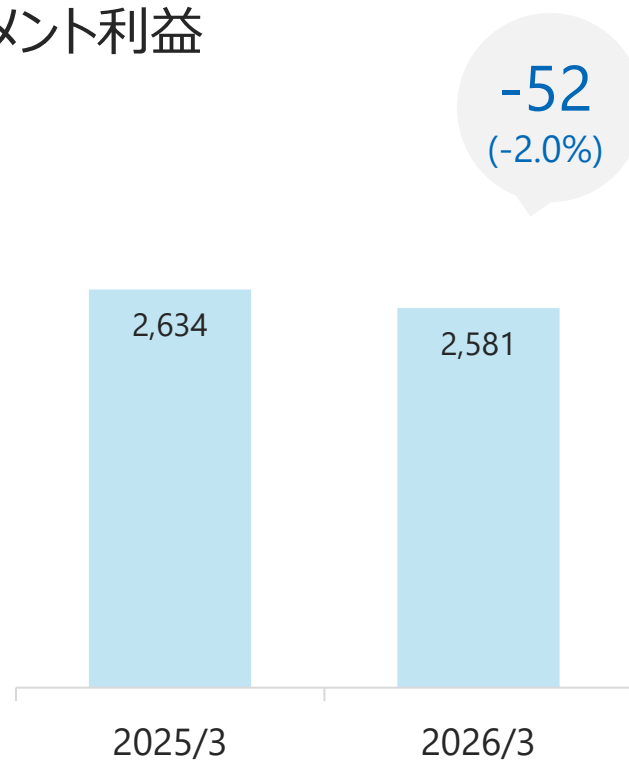
フォーバルビジネスグループ

**企業ドクターによる可視化伴走経営支援サービスは堅調に推移
エルコムと第一工芸社の影響で減収・減益**

売上高



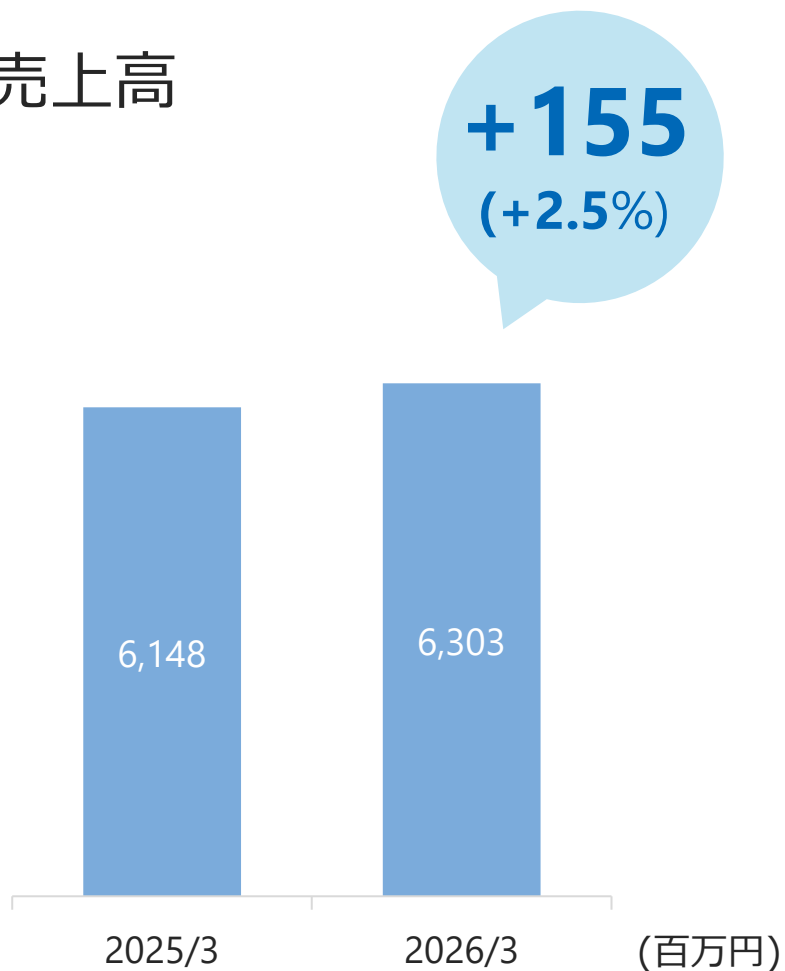
セグメント利益



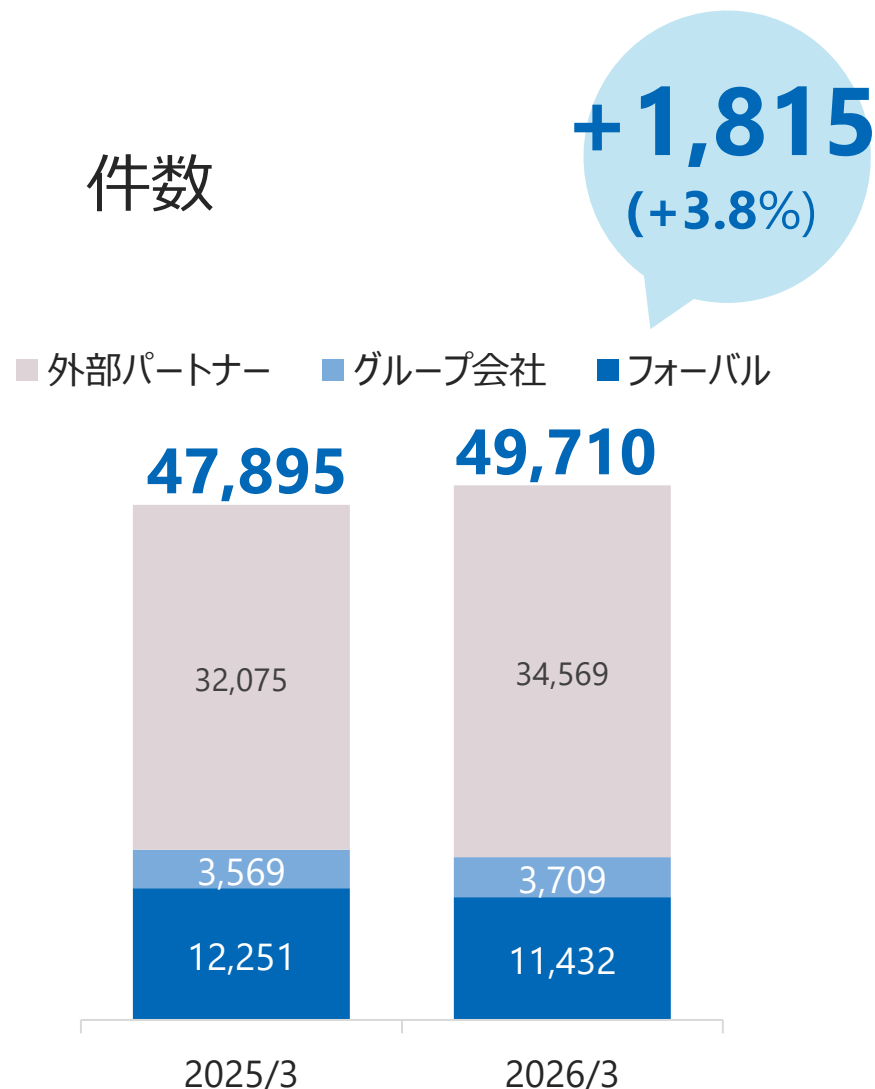
(百万円)

可視化伴走支援の売上高は微増／件数はパートナーが増加

売上高



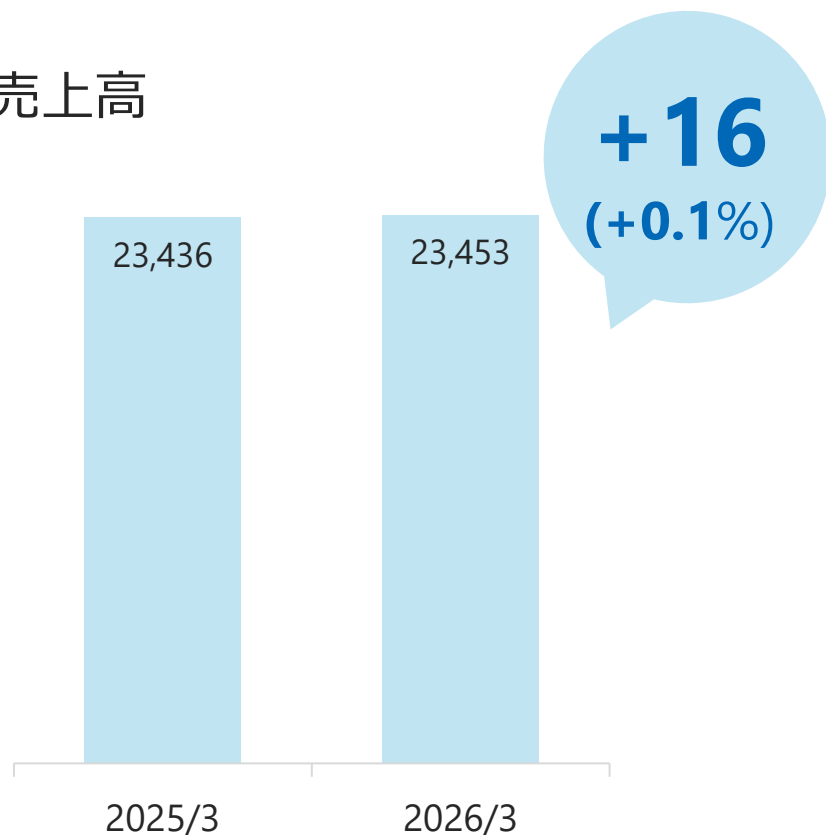
件数



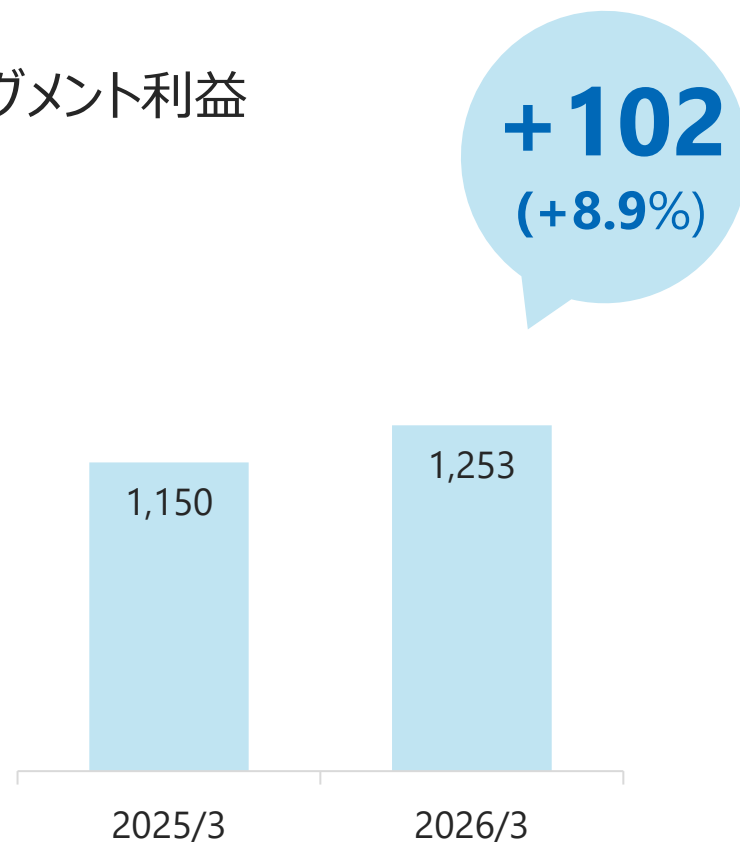
フォーバルテレコムビジネスグループ

小売電気事業における売価低下の影響で売上高は前期並み
電力サービス、通信サービスの契約件数増により増益

売上高



セグメント利益

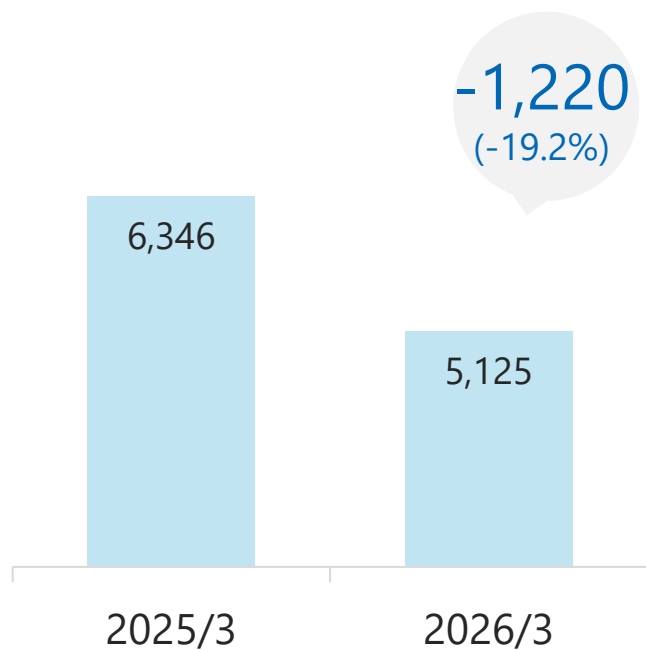


(百万円)

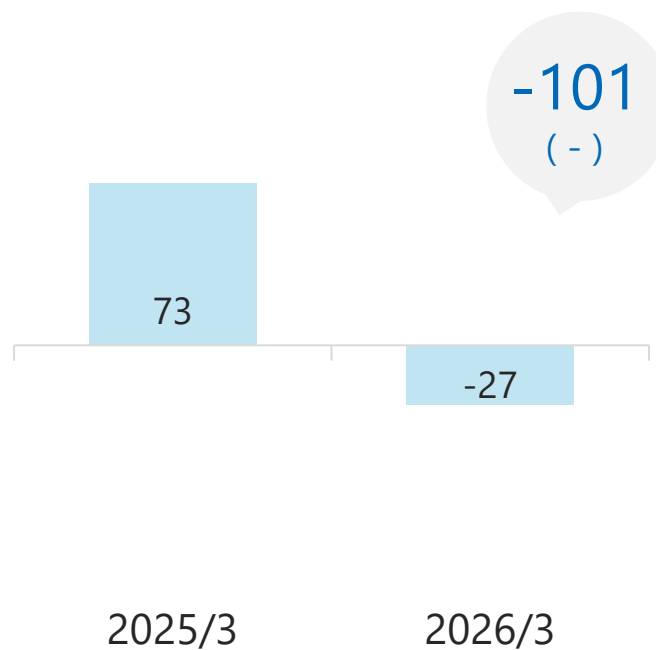
総合環境コンサルティングビジネスグループ

太陽光パネルの供給制約、仕入原価の値上がりの影響を受け
太陽光システムが減少

売上高



セグメント利益

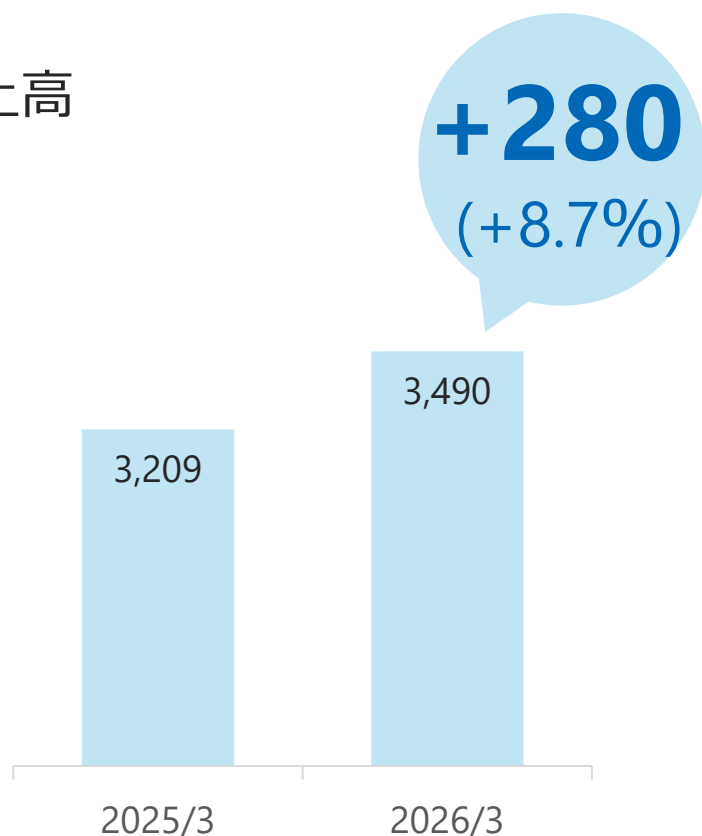


(百万円)

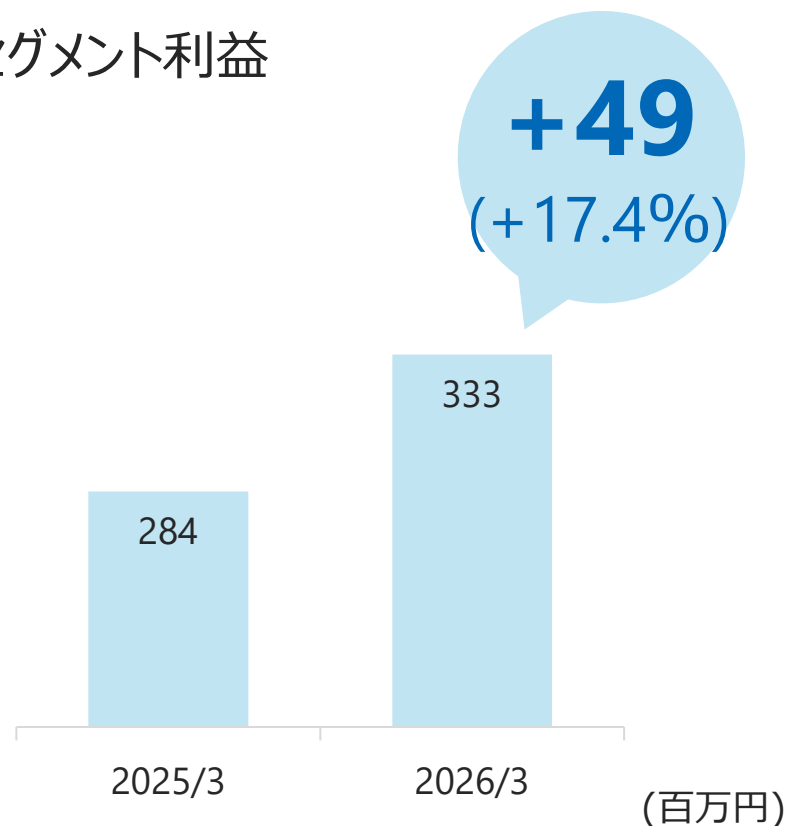
人的資本経営

セミナーなどの教育事業や前期中に新たに連結に加わったグループ会社が寄与

売上高



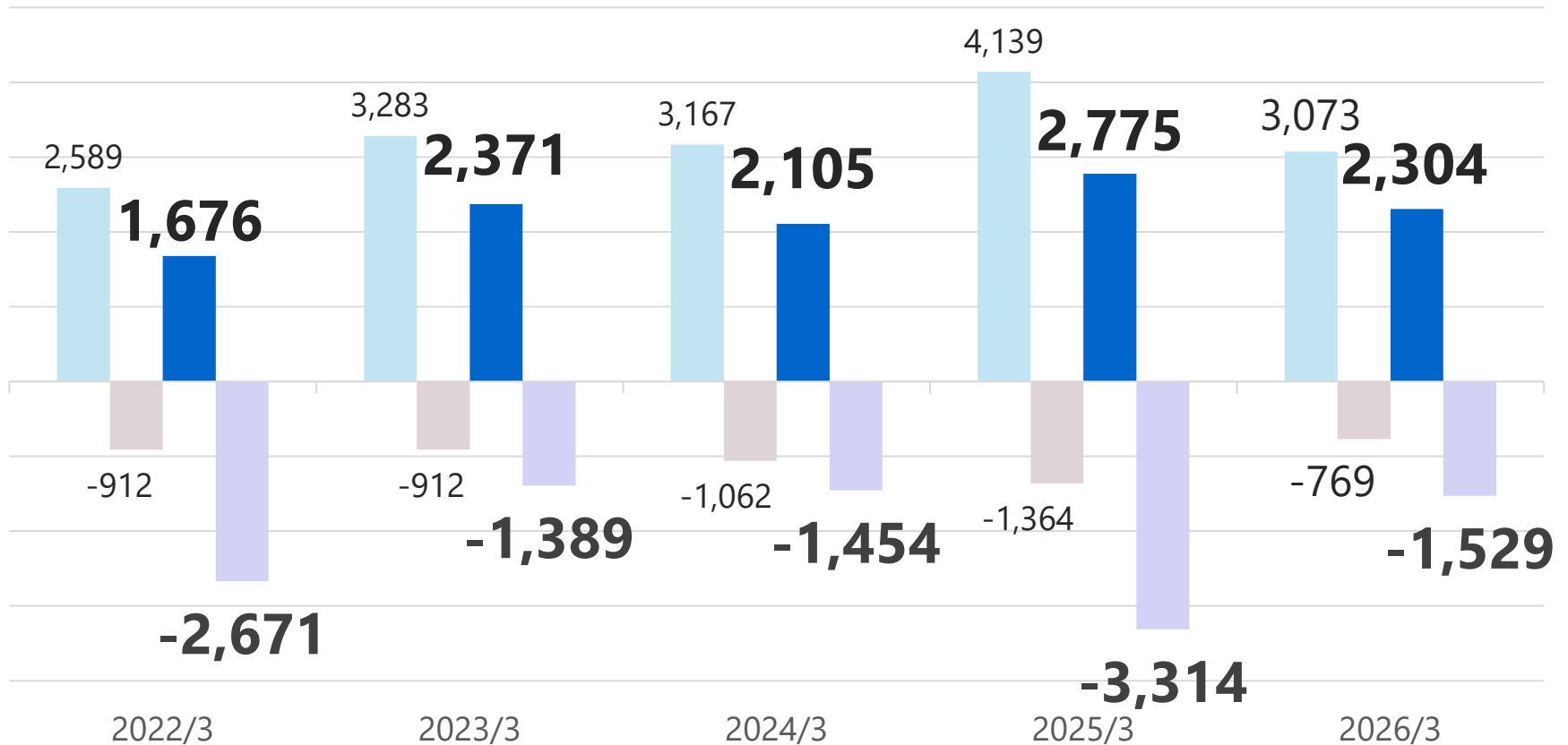
セグメント利益



フリーキャッシュ・フローはプラスを継続

(百万円)	5期累計
FCF	11,232
財務	-10,359
計	+873

(百万円) ■ 営業 ■ 投資 ■ FCF ■ 財務

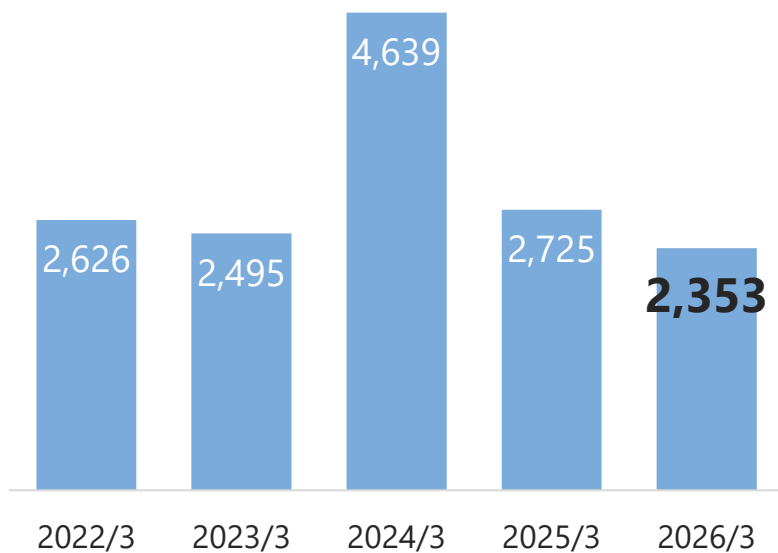


財務体質を強化

有利子負債

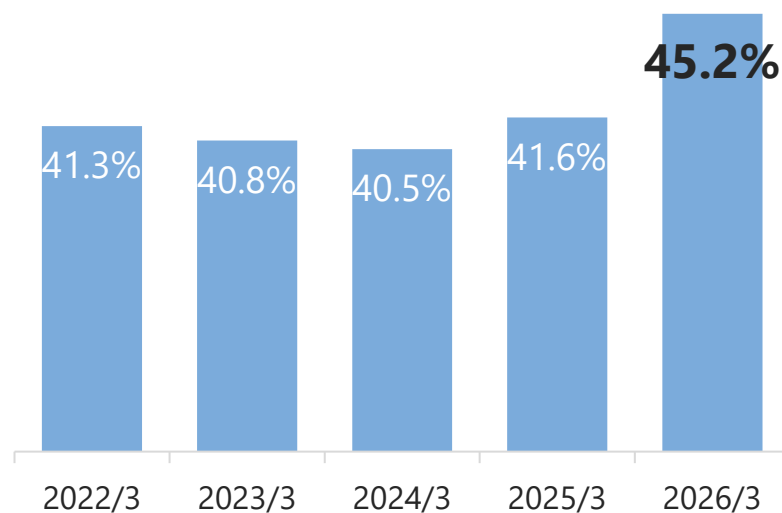
前期比13.7%減

(百万円)



自己資本比率

前期比3.6ポイント上昇



決算概要

- Financial Results Summary -

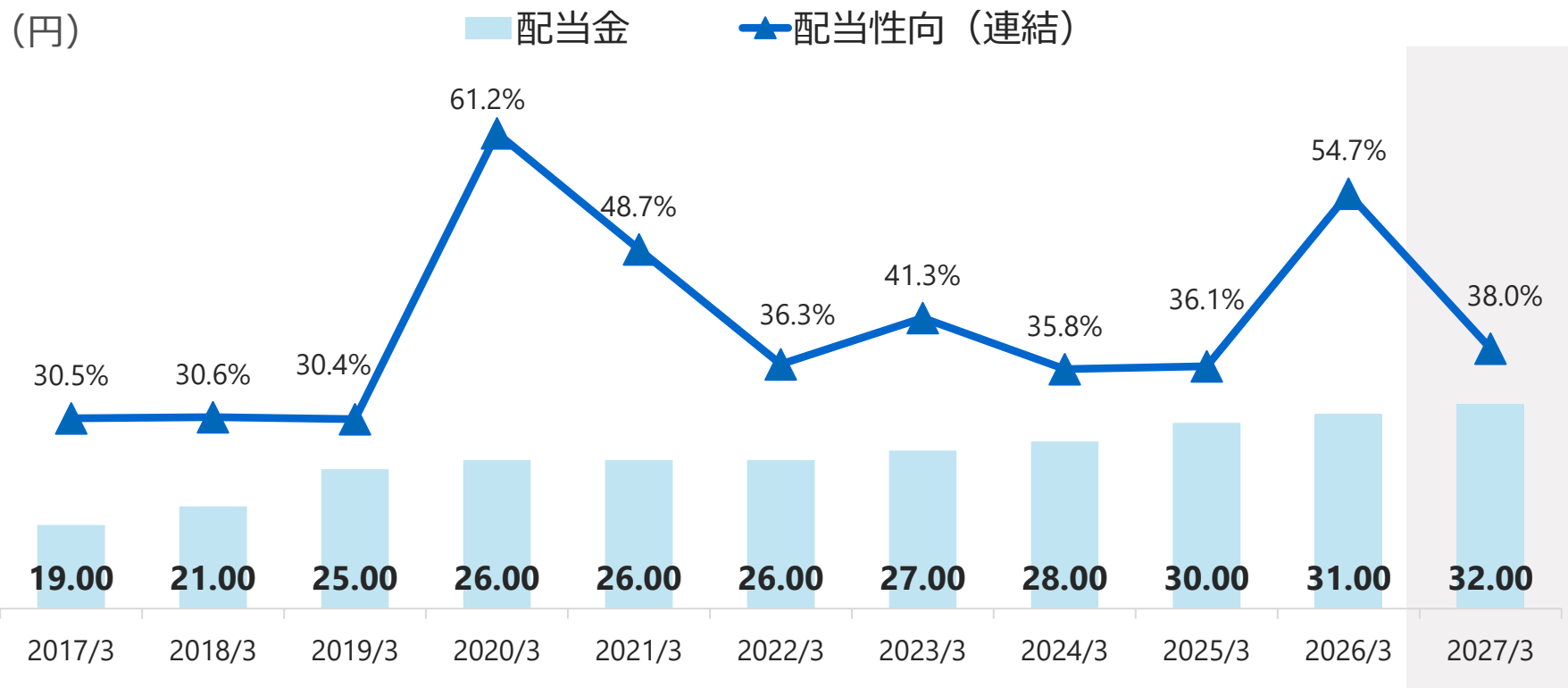
01- 2026年3月期 連結決算概要

02- 2027年3月期 連結業績見通し

2027年3月期 前期比7.7%増収、10.1%営業増益見通し

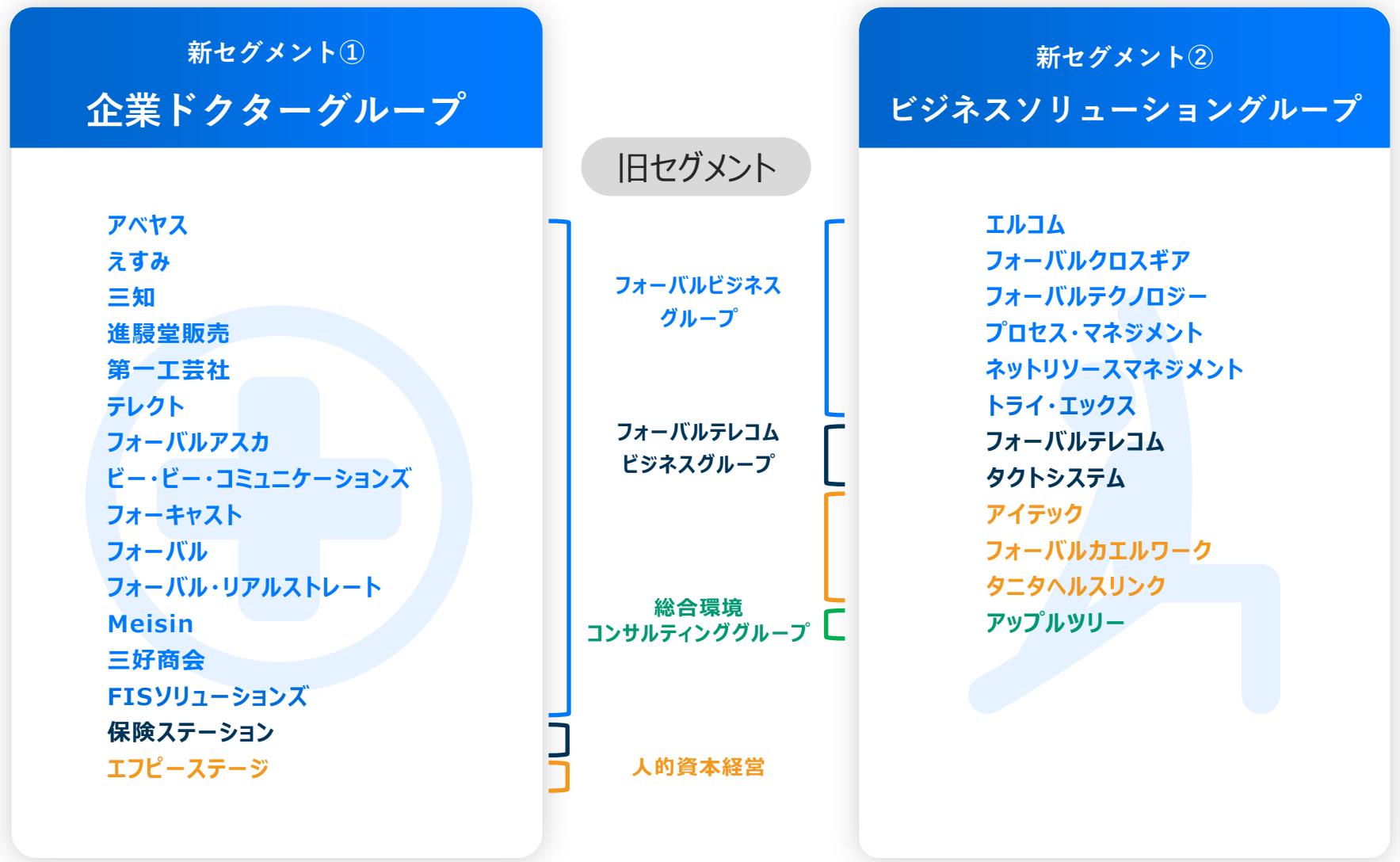
(百万円)	2027/3			2026/3	
	予想	売上比	前期比	実績	売上比
売上高	77,000	100.0%	+5,475 (+7.7%)	71,254	100.0%
営業利益	4,100	5.3%	+375 (+10.1%)	3,724	5.2%
経常利益	4,300	5.6%	+254 (+6.3%)	4,045	5.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,200	2.9%	+722 (+48.9%)	1,477	2.1%
(円)	2027/3			2026/3	
1株当たり 当期純利益	84.25			56.64	
配当金	32.00			31.00	

18年連続減配なし／4年連続増配



	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	2025.3	2026.3	2027.3
1株当たり 当期純利益 (円)	68.67	82.30	42.48	53.34	71.71	65.41	78.20	83.06	56.64	84.25

今期より2つのセグメントへ変更



株主優待制度：電子マネーギフト



電子マネーギフト

EJOICA セレクトギフトカード1枚

2,000ポイント = 2,000円相当

※2026年9月末の1単元(100株)以上保有の株主に対して1枚を贈呈予定

※5期連続して実施する予定

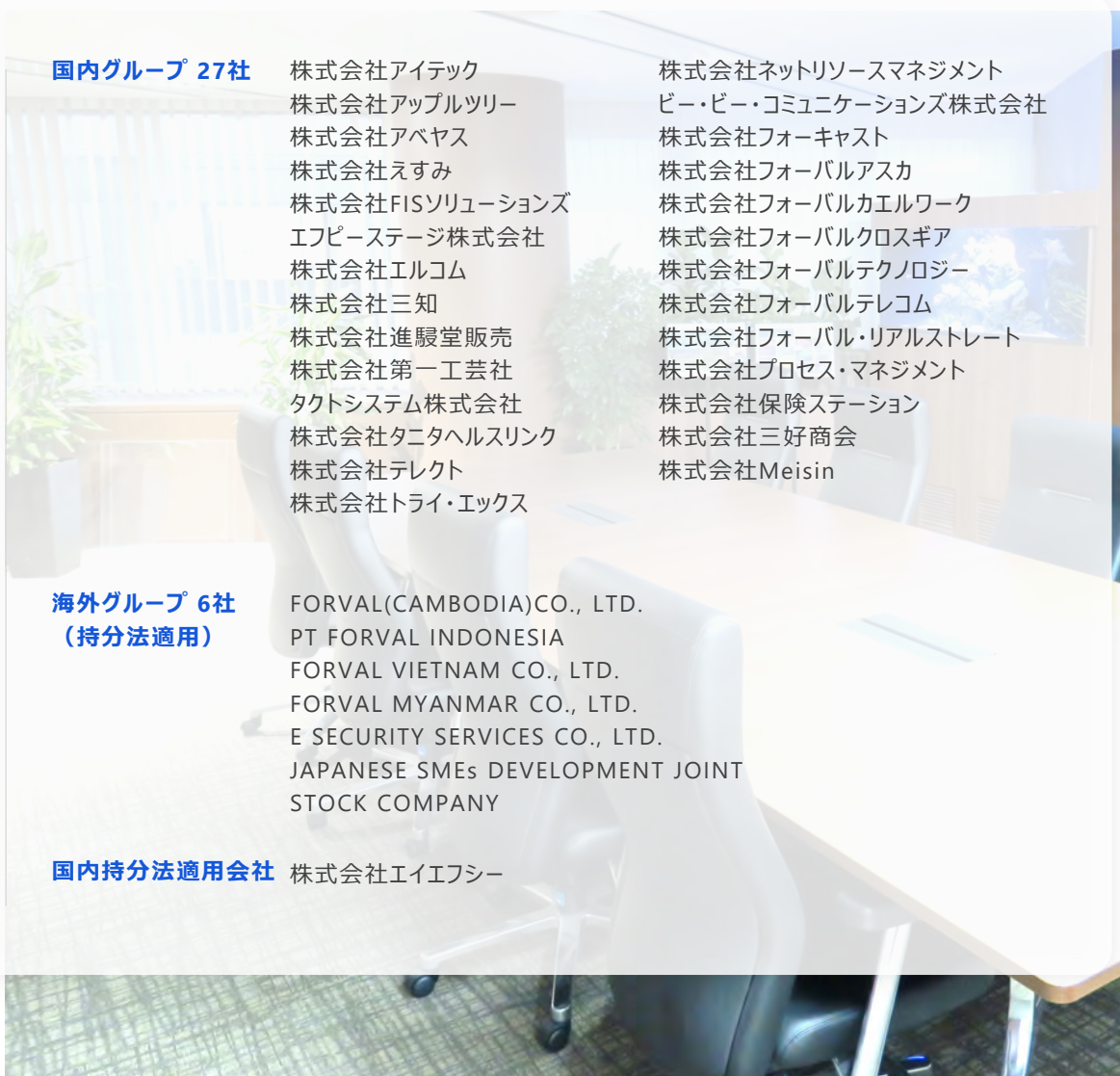
成長戦略

- growth strategy -

- 01- フォーバルについて
- 02- フォーバルが目指すこと
- 03- 中小企業が鍵となる背景
- 04- フォーバルが取り組む課題
- 05- 成長戦略

会社概要

会社名	株式会社 フォーバル
所在地	東京都渋谷区神宮前5-52-2 青山オーバルビル14階
事業内容	情報通信コンサルティング 経営コンサルティング
従業員数	2,530名（2026年3月末 連結）
資本金	41億5,000万円
設立年度	1980年9月18日
拠点所在地	札幌／仙台／東京／横浜／名古屋／ 大阪／京都／北九州／福岡／佐賀／ 鹿児島



国内グループ 27社

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 株式会社アイテック | 株式会社ネットリソースマネジメント |
| 株式会社アップルツリー | ビー・ビー・コミュニケーションズ株式会社 |
| 株式会社アベヤス | 株式会社フォーキャスト |
| 株式会社えすみ | 株式会社フォーバルアスカ |
| 株式会社FISソリューションズ | 株式会社フォーバルカエルワーク |
| エフピーステージ株式会社 | 株式会社フォーバルクロスギア |
| 株式会社エルコム | 株式会社フォーバルテクノロジー |
| 株式会社三知 | 株式会社フォーバルテレコム |
| 株式会社進駿堂販売 | 株式会社フォーバル・リアルストレート |
| 株式会社第一工芸社 | 株式会社プロセス・マネジメント |
| タクトシステム株式会社 | 株式会社保険ステーション |
| 株式会社タニタヘルスリンク | 株式会社三好商会 |
| 株式会社テレクト | 株式会社Meisin |
| 株式会社トライ・エックス | |

海外グループ 6社 （持分法適用）

- FORVAL(CAMBODIA)CO., LTD.
- PT FORVAL INDONESIA
- FORVAL VIETNAM CO., LTD.
- FORVAL MYANMAR CO., LTD.
- E SECURITY SERVICES CO., LTD.
- JAPANESE SMEs DEVELOPMENT JOINT STOCK COMPANY

国内持分法適用会社

- 株式会社エイエフシー

—— フォーバルが目指すこと 昨日までなかったものを、今日からの常識に変える「新しいあたりまえ」というビジネスモデル

中小企業経営のフィールドで新しい社会価値を生むことです。

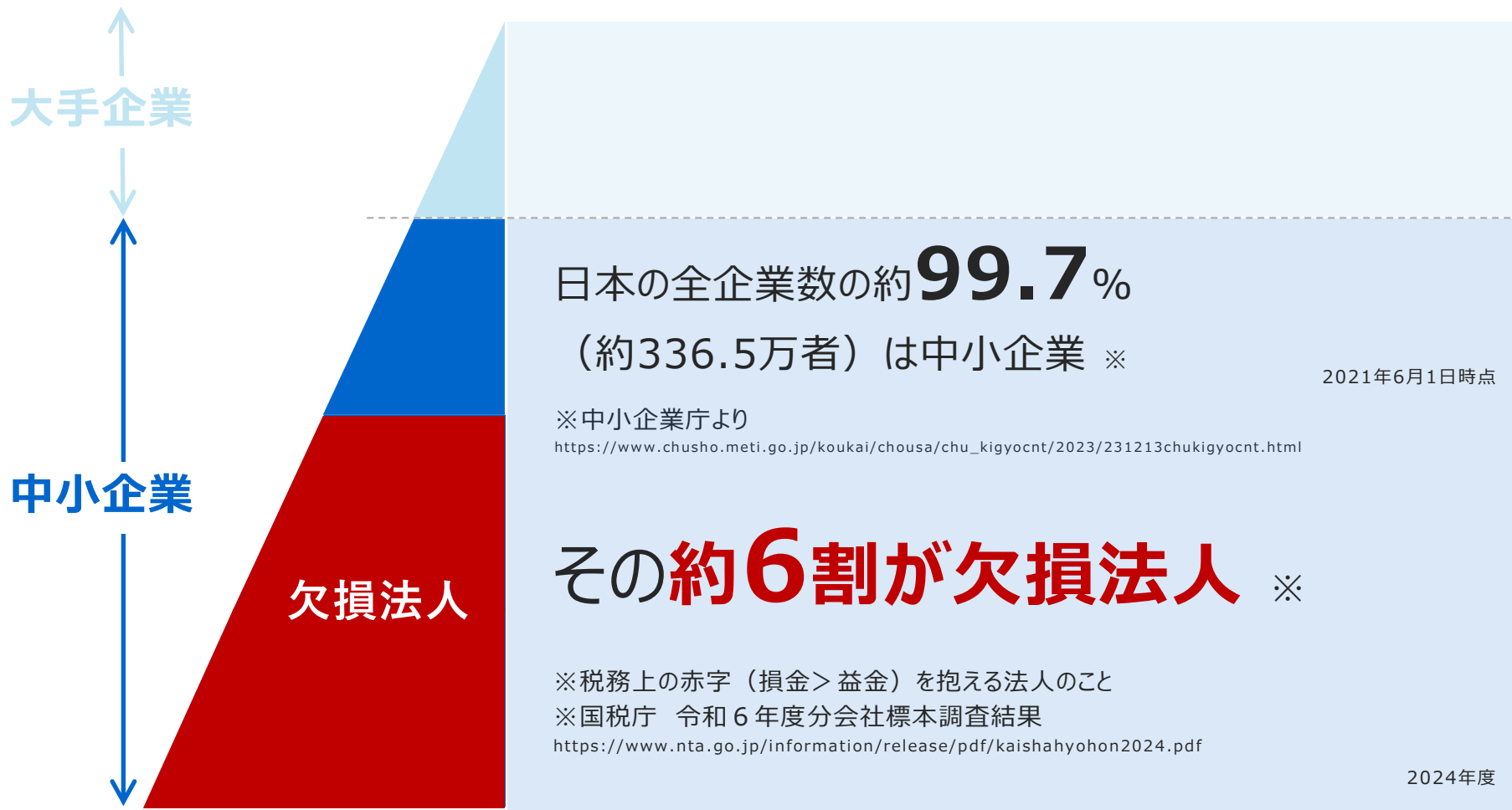
**それは、日本全国で企業版医療産業の地場産業化を図ること。
若者や女性を中心とした企業ドクターを創出すること。**

これらが日本全国であたりまえになる社会をつくれます。

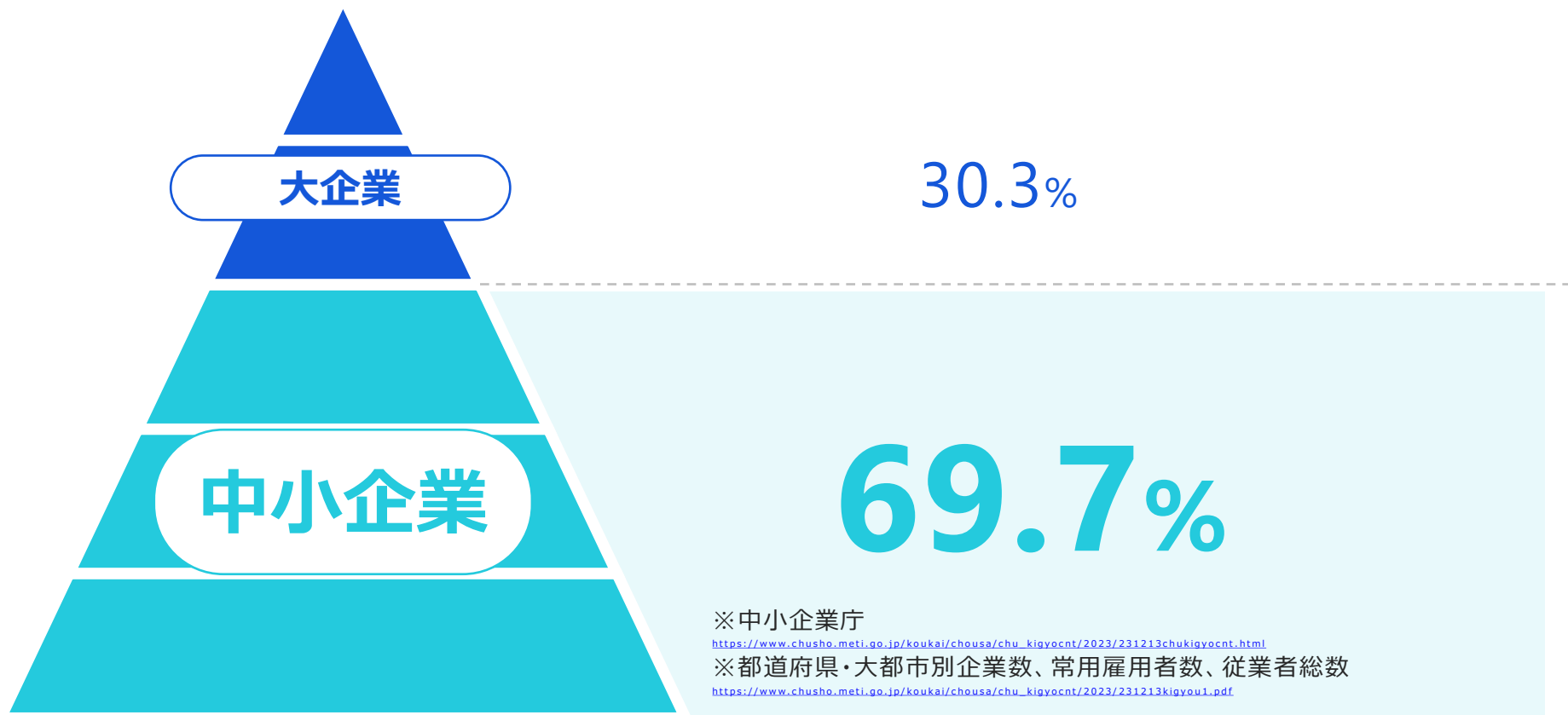


なぜ鍵が、中小企業なのか

【日本の大手企業と中小企業の割合】



大企業と中小企業の従業員数の割合



従業員数でいうと、約7割が中小企業である

中小企業を再生すると、何が起こるか



大企業は賃上げを開始



STEP 01
利益向上

- 再生により業績改善



STEP 02
利益を人件費へ

- 好条件の企業へ人材の流出
防止で人件費へまわす



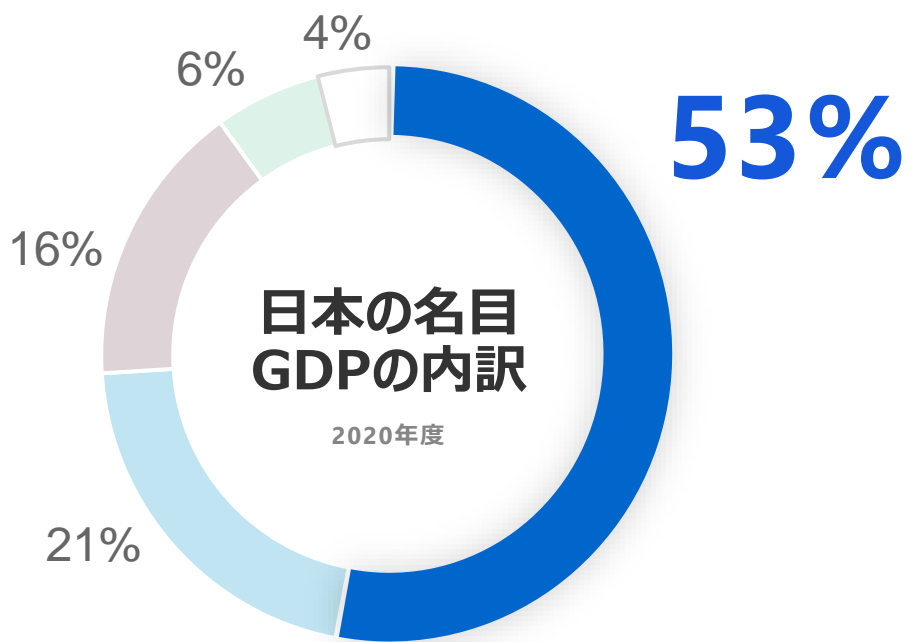
STEP 03
賃上げ

- 利益が賃金へ

利益が従業員に還元される

従業員に利益が還元されたら、どうなるか

■ 個人消費 ■ 政府消費 ■ 設備投資 ■ 公共投資 □ その他



POINT

日本のGDP構成は、個人消費の割合が高い

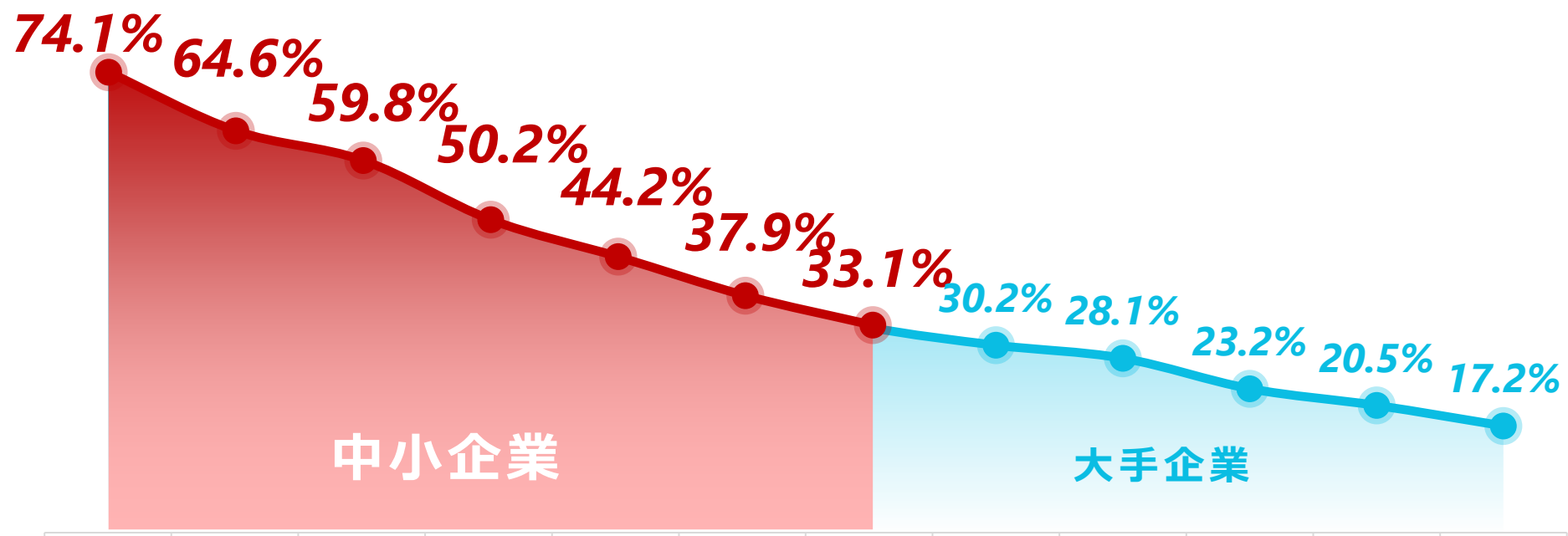
- 従業員の約70%は中小企業

個人消費が伸び、日本経済は成長する

日本経済新聞 2021年5月19日記事

企業の規模が小さいほど欠損率が高い

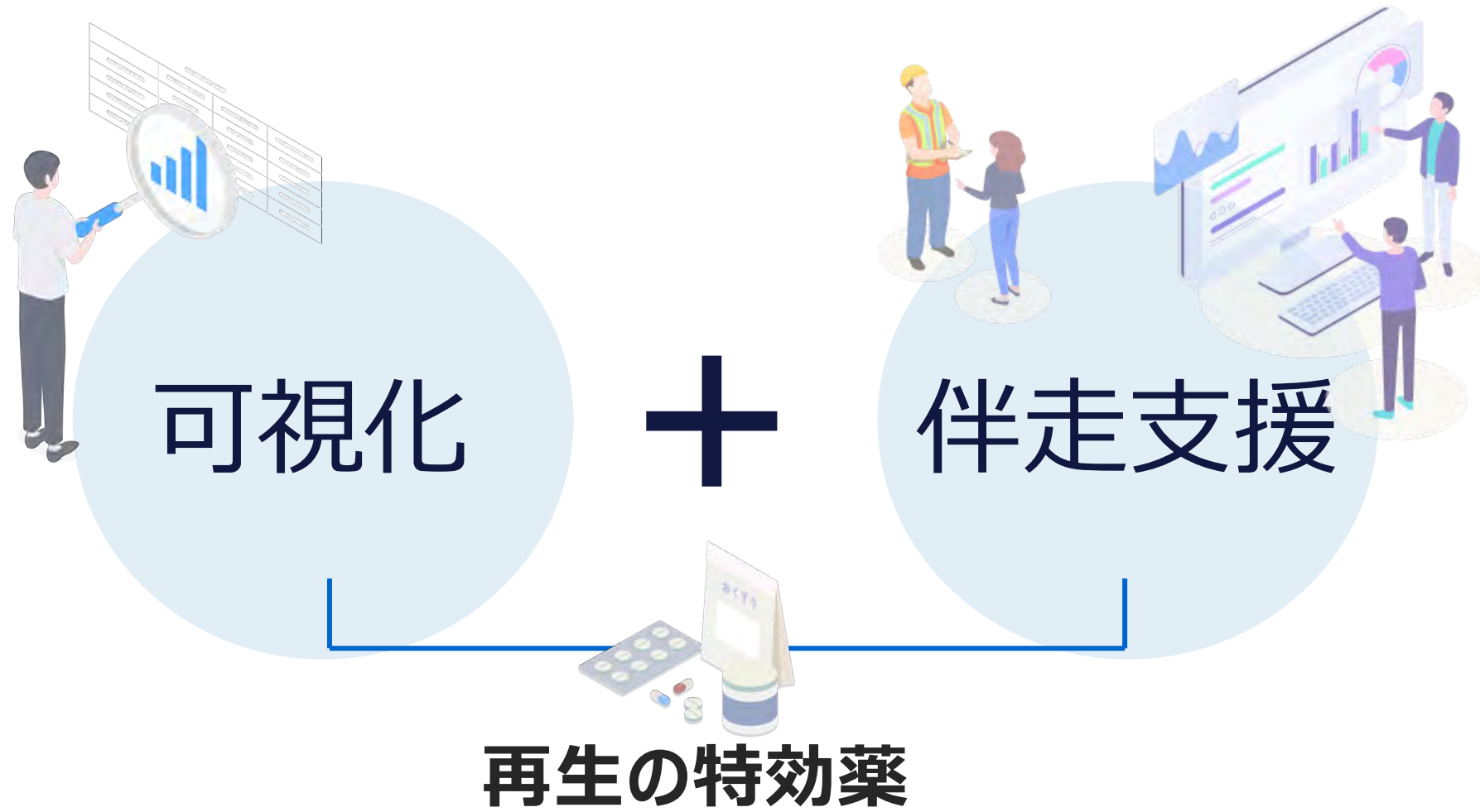
売上高別欠損法人率



3千万以下 4千万以下 1億以下 2億以下 4億以下 6億以下 10億以下 20億以下 35億以下 50億以下 100億以下 100億超
単位：円

欠損率が高いほど、賃金アップにつながりにくく
個人消費の拡大にブレーキがかかる

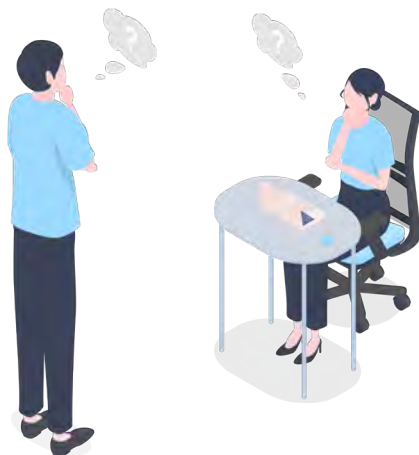
中小企業の再生に必要なこと



可視化と伴走支援が揃って、はじめて中小企業の再生が可能になる

なぜ可視化と伴走支援が必要か

可視化



**可視化しないと、
病気にかかっている
ことに気が付かない**

伴走支援



**病気だとわかってても、
治し方が分からない**

中小企業の再生には、専門人材が必要



専門人材 = 企業ドクターと命名

フォーバルは、専門人材の育成に取り組んでいる

可視化するためのツール

経営データの可視化・効果測定をする

中小企業経営のための情報分析プラットフォーム

財務・非財務情報



リアルなデータを蓄積



可視化、効果測定



業績回復への道筋も

**きづなPARKとは、赤字（病気）から黒字（健康）へ
導くための全国共通のカルテ集**

きづなPARKの特色

SAMPLEPARK ヒト 倉庫 カネ 電話 時刻表 **CONFIDENTIAL**
重要企業情報のため取り扱いにご注意ください

会社名 株式会社きづな 業種 製造業 従業員数 12 名

決算書 3ヶ年分析

決算書 3ヶ年分析は、直近3期分の決算数値から財務基盤と経営成績を単年及び時系列で判定します。
外部のビックデータを用いた相対比較にて、マーケットでの自社の立ち位置が可視化できます。

最新決算年度 2021 決算月 1 月

判定 レベル0 ゾンビ 債務超過

	自社	全社	業種
レベル6			
レベル5			
レベル4			
レベル3			
レベル2			
レベル1			
レベル0			

理想 ↑

※他社比較データ：中小企業実態基本調査（中小企業庁）を使用しています。

経営状態 企業として存続が危ぶまれている状態です。
経営資金が足りない、経営改善の打つ手が無い、といった状態の可能性が高いです。

対策・施策 現預金推移の確認や取引条件の見直しを行い、今後の見通について資金繰り管理を行う必要があります。
売上の確保や販売促進策、設備投資の見直しを行い、今後の見通について検討をお願いします。

財務・非財務データをきづなPARKに取り込むと、 企業の健康状態を7段階で判定

きづなPARKの保有データ数（2026年3月末現在）

オープンデータ



企業の基本情報 gBizINFO ※1

約 **575万** 法人



中小企業実態基本調査 ※2

約 **168万** 件



財務情報 CRD ※3

約 **26万** 社



非財務データ登録者数

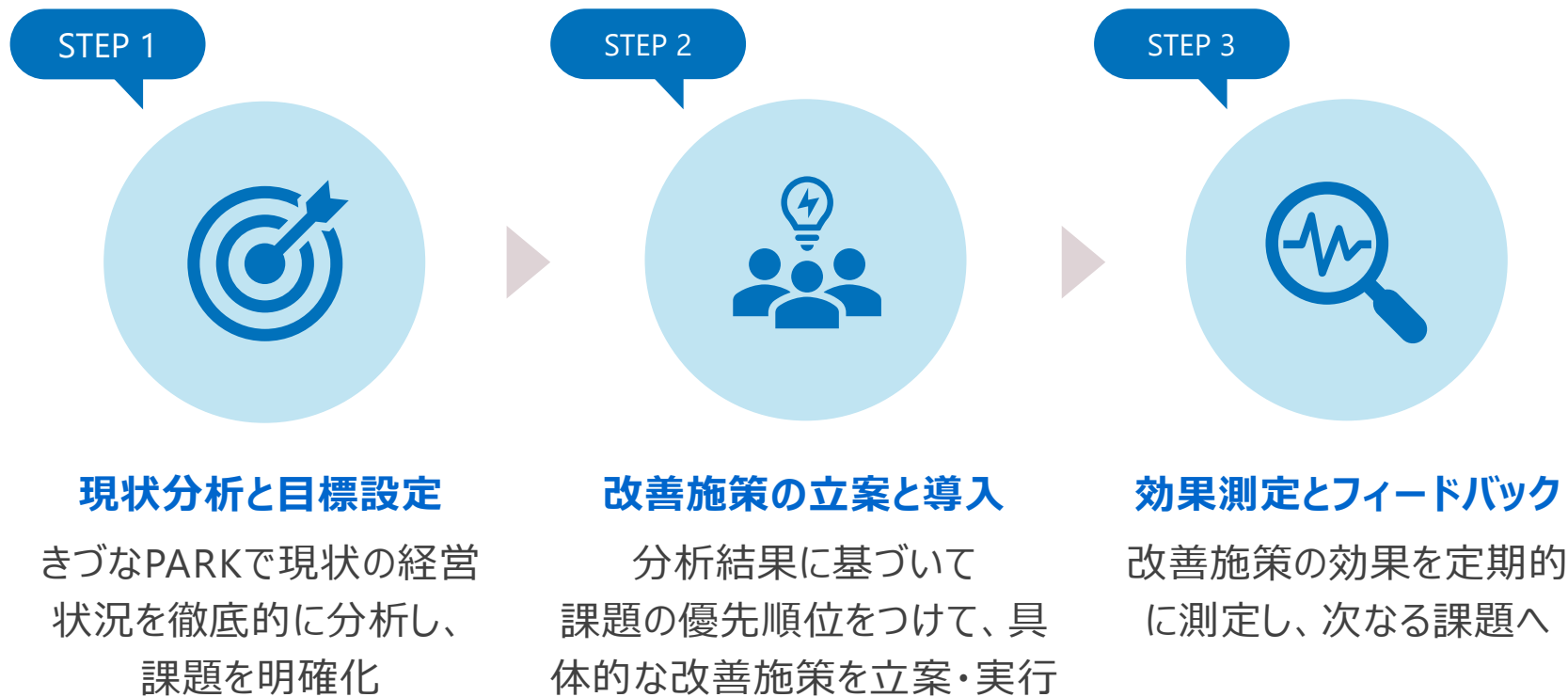
約 **2万** 社

※1 経済産業省が運営する「gBizINFO」とデータ連携をしており、法人番号が付与されている法人企業の他、行政機関や管理組合等の団体・組織の基本情報データと連携

※2 中小企業庁が中小企業全般に共通する財務情報、経営情報等を把握するために実施している一般統計調査のデータと連携

※3 中小企業信用リスク情報データベース（略称CRD）に蓄積された中小企業の財務データから抽出したデータと連携

専門人材とともに、企業の再生へ



伴走支援で、利益を出せる体質へと導く

きづなPARKの意義



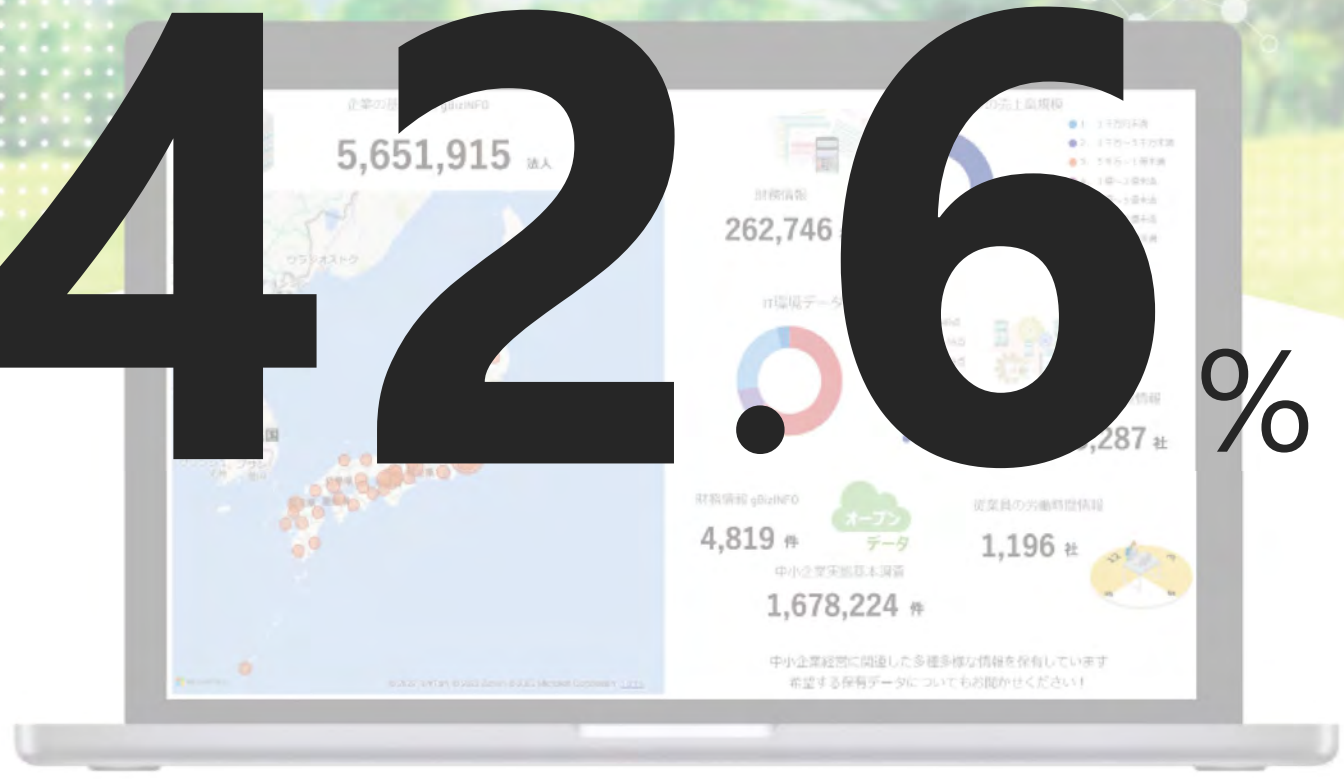
きづなPARKを使うことにより、
より多くの企業ドクターを輩出できる
より質の高い医療を提供し、標準化できる

きづなPARK + 伴走支援

営業利益が赤字から黒字へ転換した企業の割合

※債務超過ではない
※集計期間：2025年4月～2026年3月末

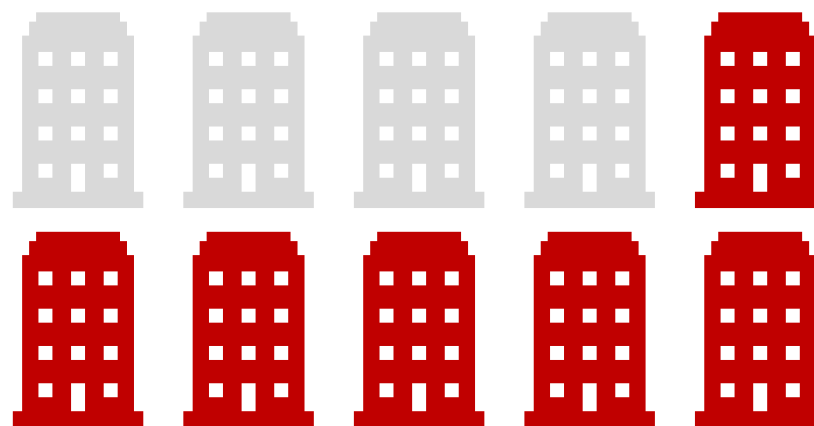
42.6%



日本の現実

約300万社のうち

約**6**割が赤字法人



※2023年度 国税庁統計法人税表

利益が限りなくゼロに近い企業も含めると、
約200万法人が企業ドクターを必要としている

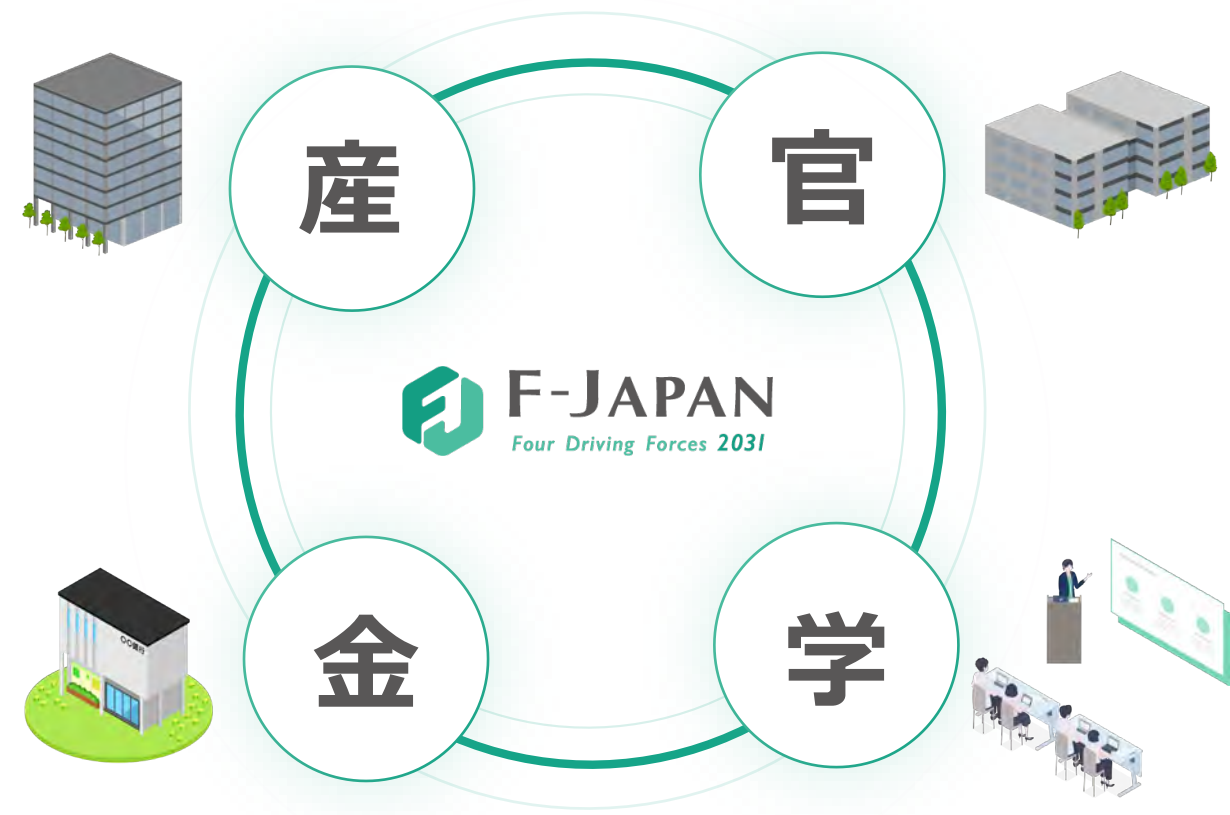
必要な企業ドクターの数



約26万人

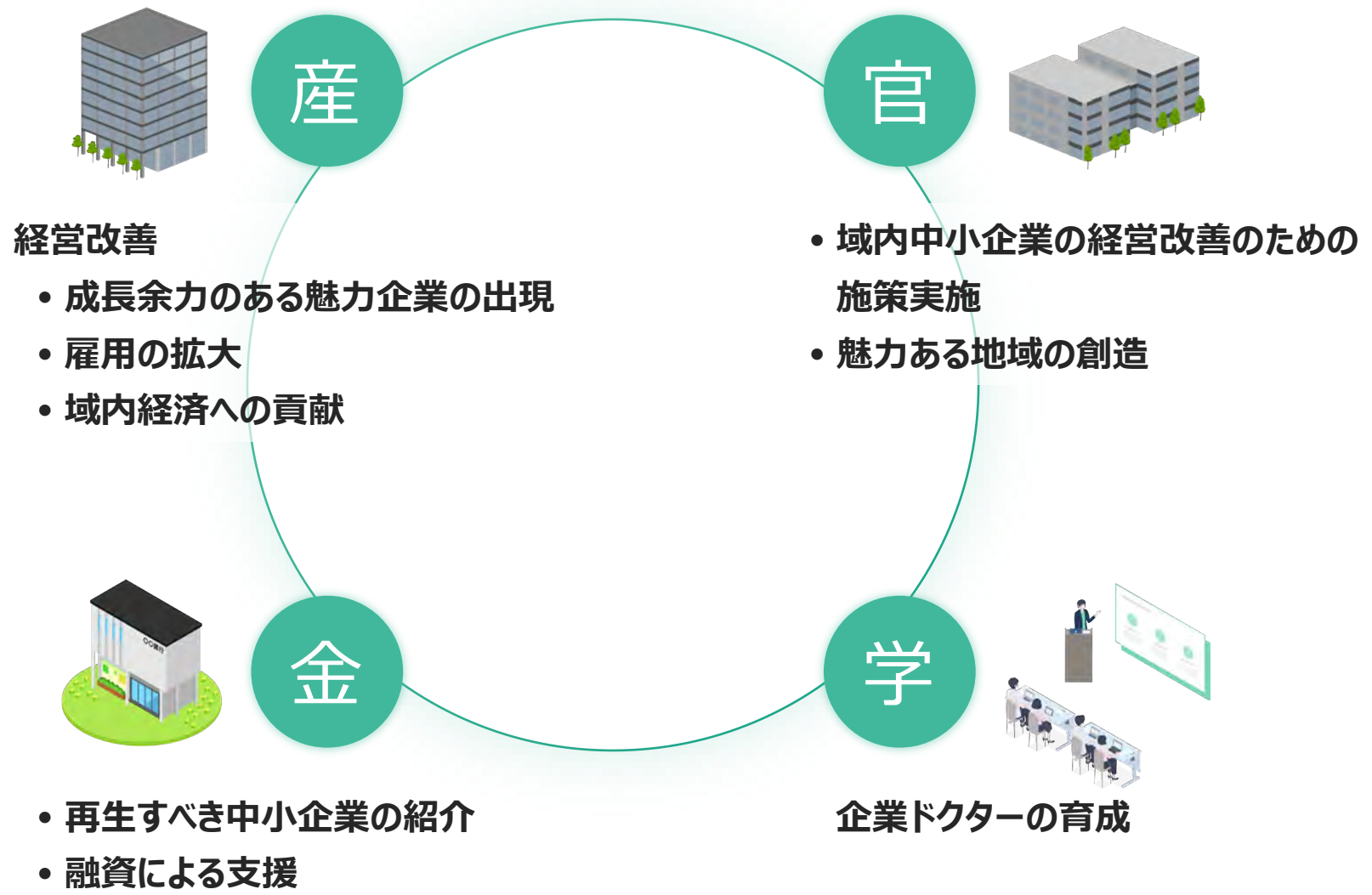
フォーバルグループ単独では不可能

F-Japan構想で、企業ドクターの数を増やす



**産官学金の連携で、
企業ドクターを輩出する社会をあたりまえにする**

産官学金の役割



企業版医療産業

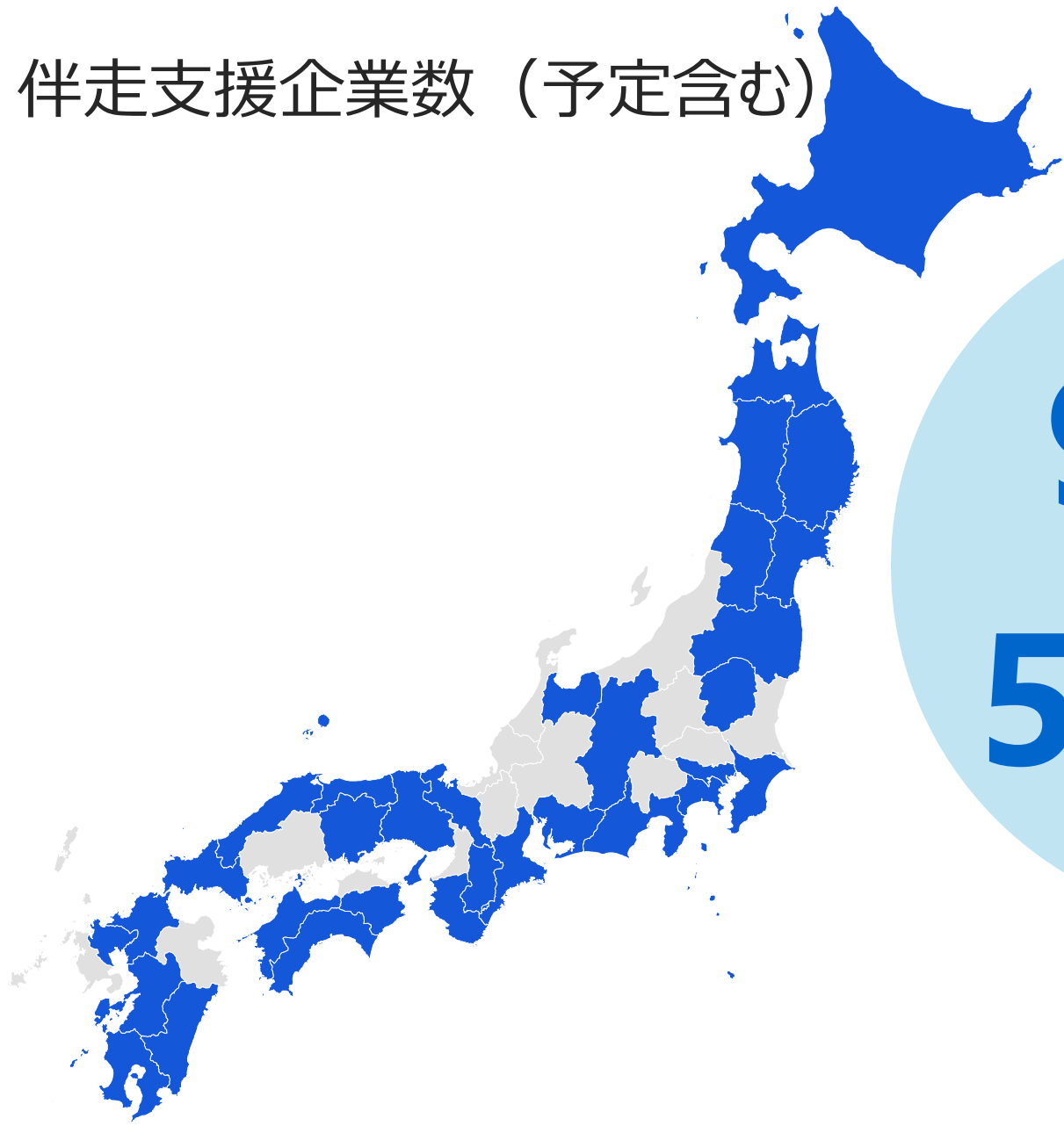


地方創生に資する事業であると確信

A photograph of construction workers on a steel frame, overlaid with a blue tint. The workers are wearing hard hats and safety gear, and are positioned on a complex network of yellow and grey steel beams. The background shows a blurred cityscape.

産との連携

伴走支援企業数 (予定含む)

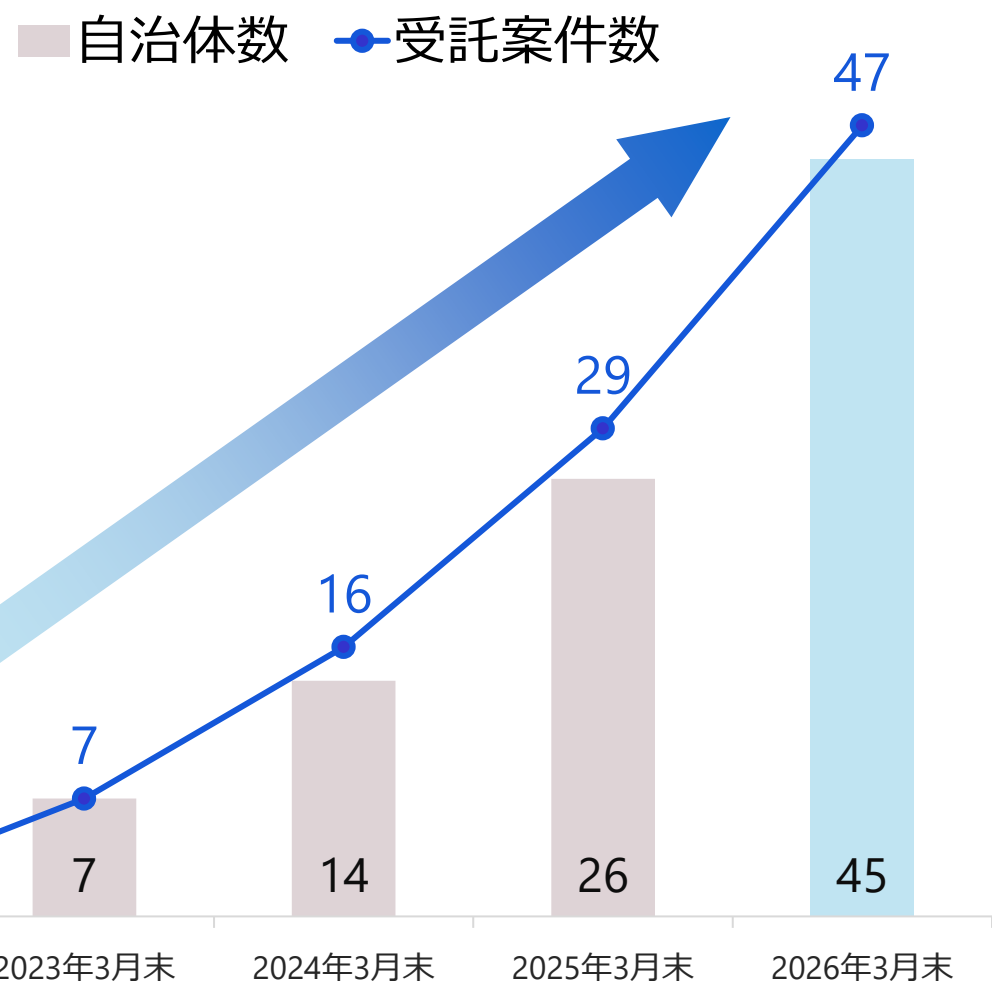


2026年3月末時点

A low-angle, blue-tinted photograph of a modern skyscraper with a grid-like facade, partially obscured by trees on the right and a traffic light on the left. The building is the central focus of the background.

官との連携

地域企業の支援に向け連携した、自治体・受託案件数



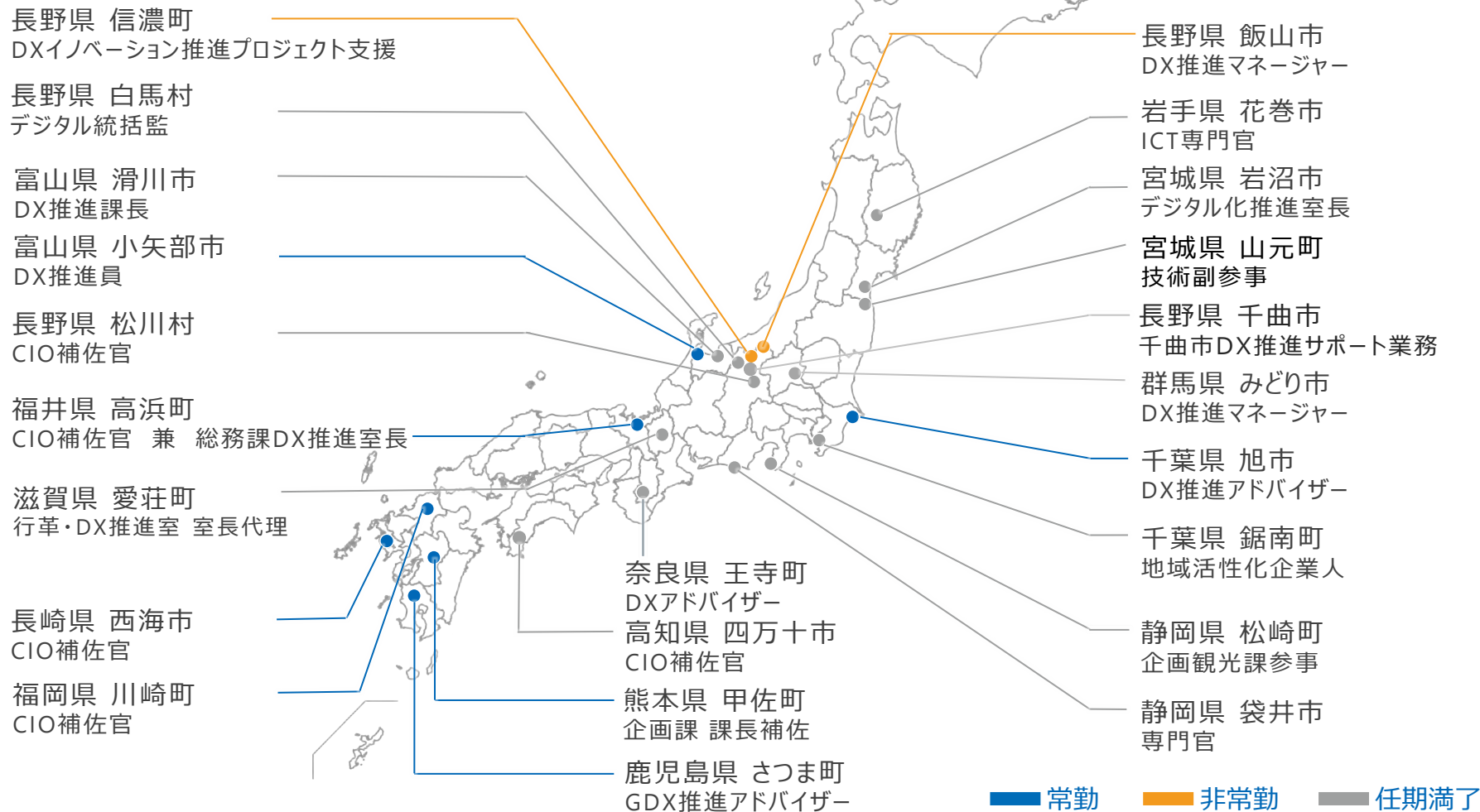
累計支援実績

100件

累計
23
自治体

デジタル専門人材の派遣先実績

2026年3月末



A background image of a graduation ceremony, showing the backs of several graduates in blue caps and gowns. The image is overlaid with a semi-transparent blue filter.

学との連携

企業ドクターの授業を開設した教育機関

2026年3月末

全国累計

58校

九州共立大学
九州産業大学
福岡女学院大学

唐津ビジネスカレッジ
佐賀清和高校
鍋島中学校

長崎大学
長崎国際大学

鹿児島県立短期大学

香川大学大学院

神戸市外語大学

金城大学短期大学部

岐阜大学大学院

京都橘大学

愛媛大学

摂南大学
阪南大学
関西大学
近畿大学

程塚山大学

清泉大学

秋田大学

関東学院大学

中京大学
豊橋技術科学大学
東海大学

皇學館大學
皇學館高等学校
皇學館中学校
三重短期大学

札幌大谷大学
北海道大学
北星学園大学
経専学園
札幌学院大学
北海学園大学
北海道武蔵女子短期大学
北海道科学大学
武蔵女子短期大学

仙台青葉学院短期大学
東北工業大学
東北芸術工科大学
東北福祉大学
宮城大学
宮城学院女子大学

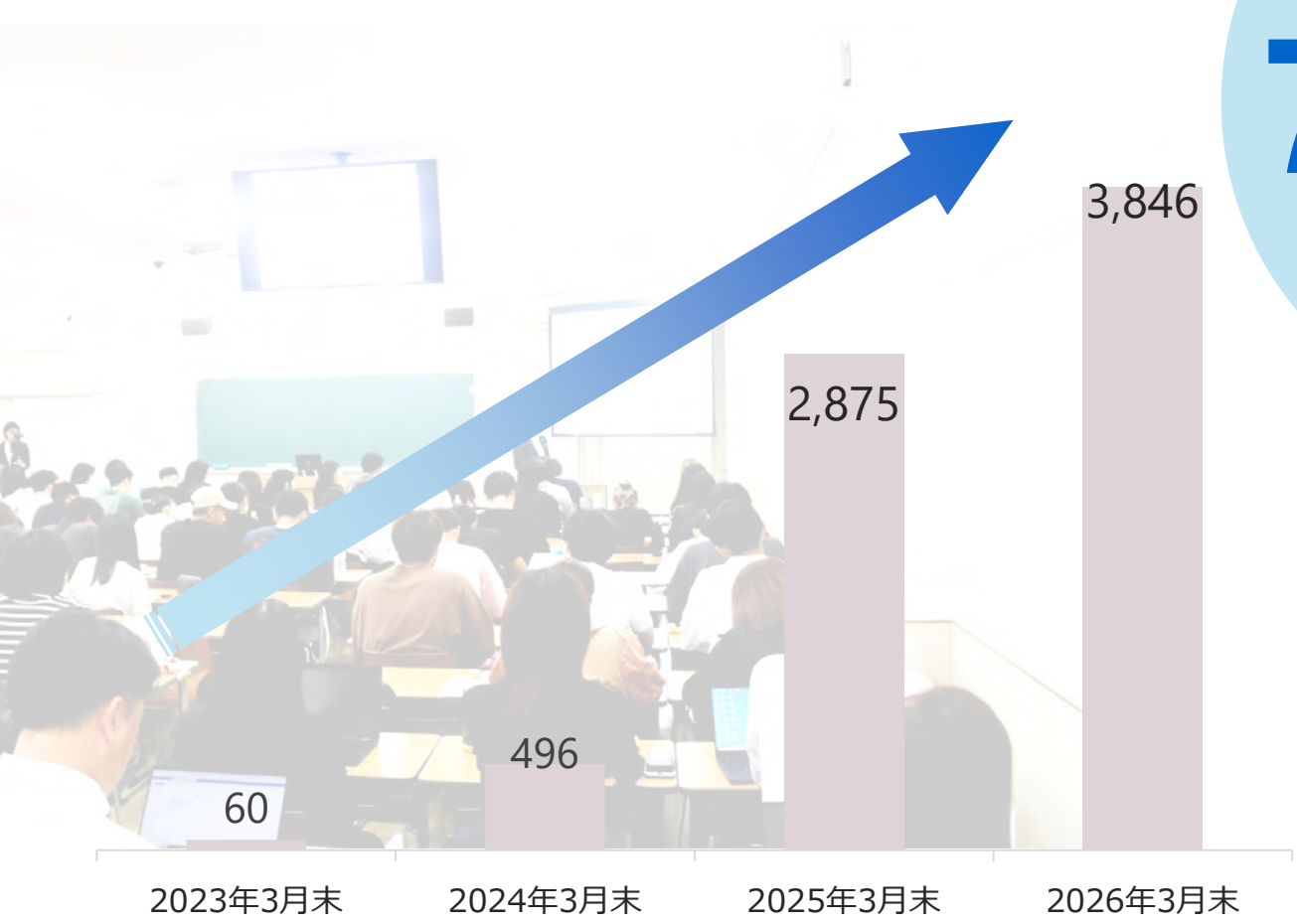
会津大学

國學院大學
文京学院大学
情報経営イノベーション専門職大学
(IU大学)

ハリウッド美容専門学校
明星大学
大正大学
専修大学
中央大学
関東学園大学
武蔵大学
二松学舎大学
南葛師高校

2026年3月末日時点

受講者数



全国累計

7,277名

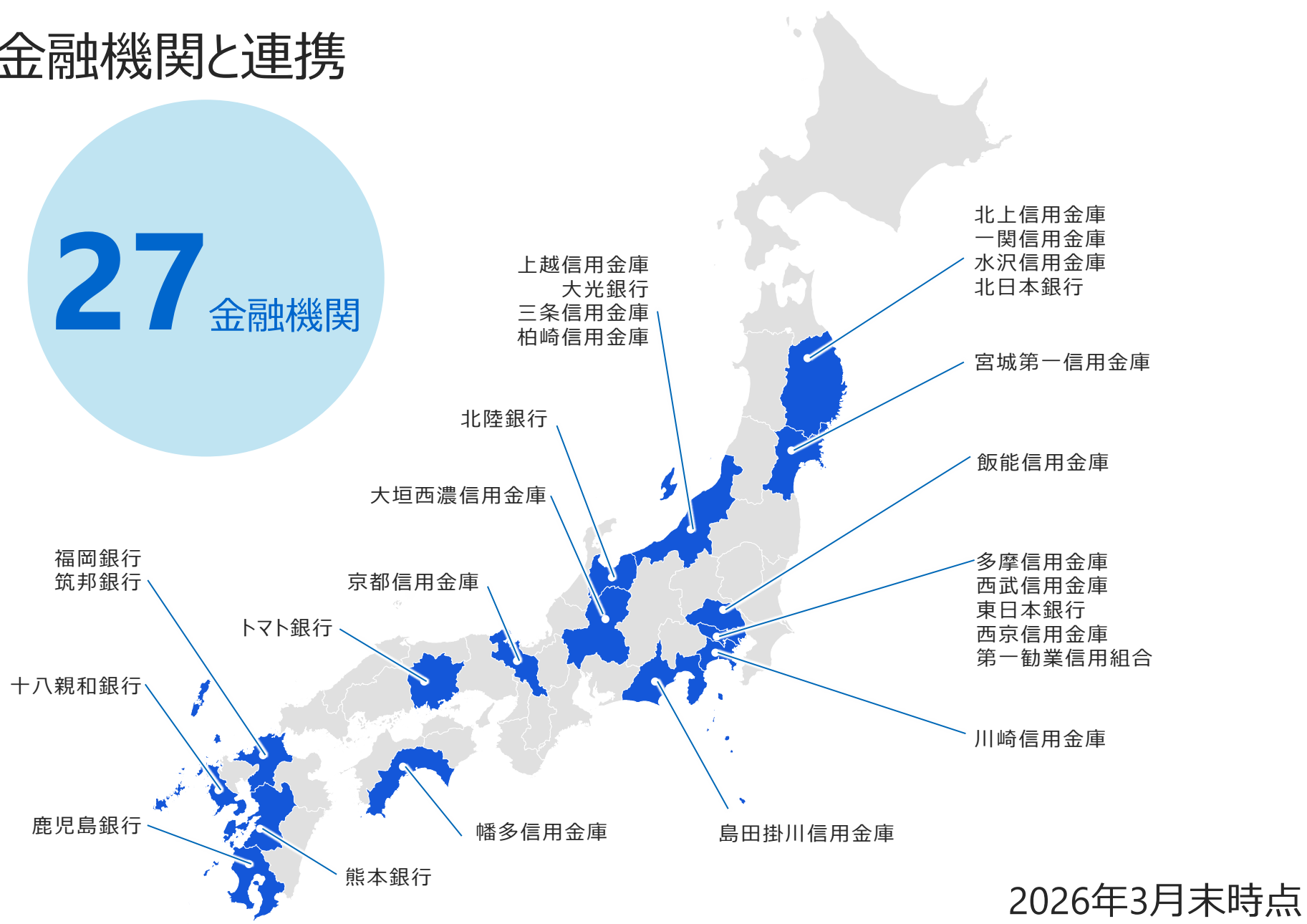
2026年3月末日時点



金との連携

金融機関と連携

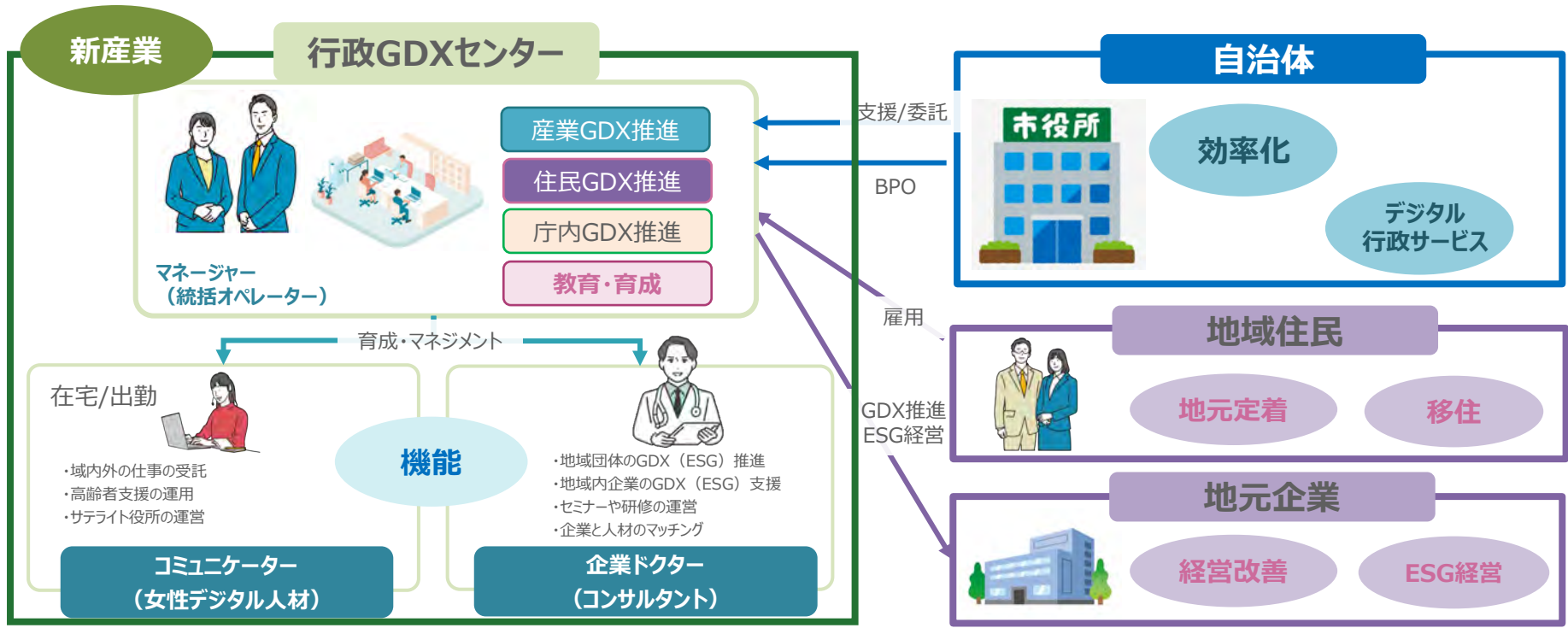
27 金融機関



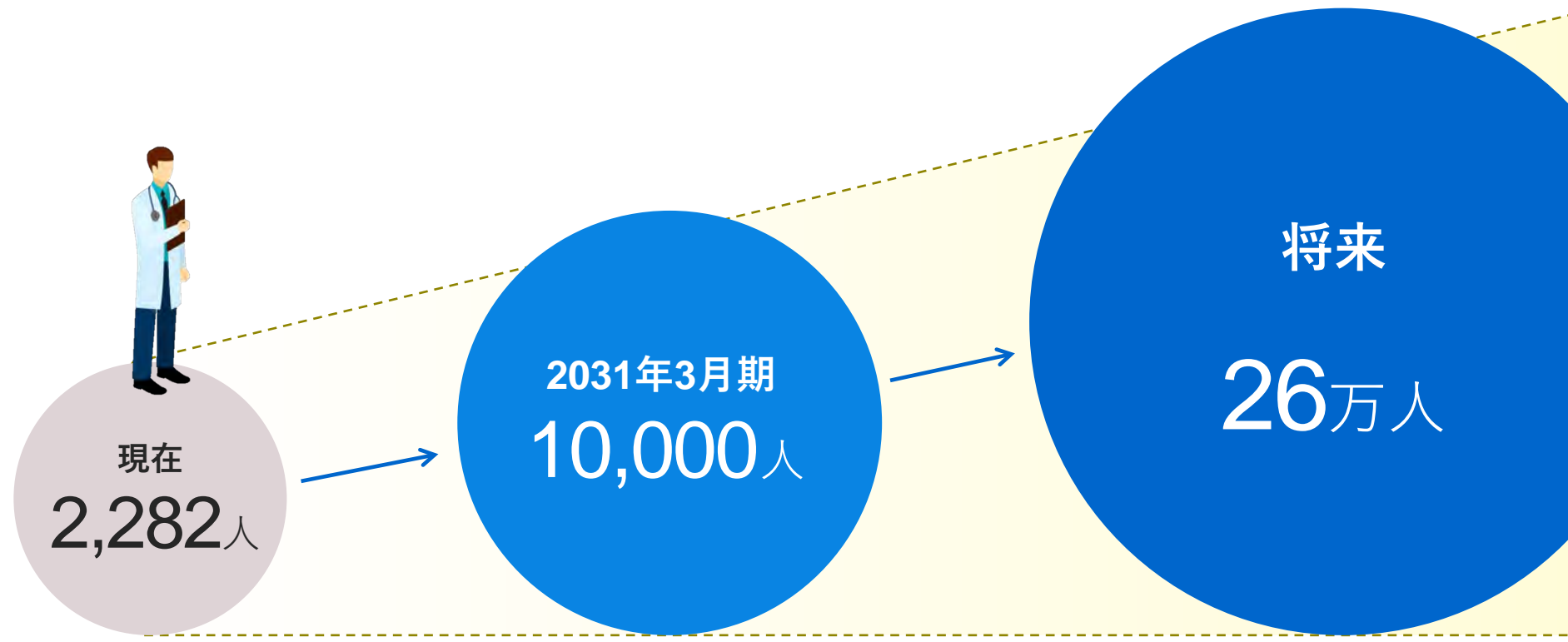
2026年3月末時点

GDXセンター構想

地域に根ざしたセンターを設立し、**地域課題の解決**と**新たな産業創出**を目指す



企業ドクター数と治療企業数の目標



治療企業数

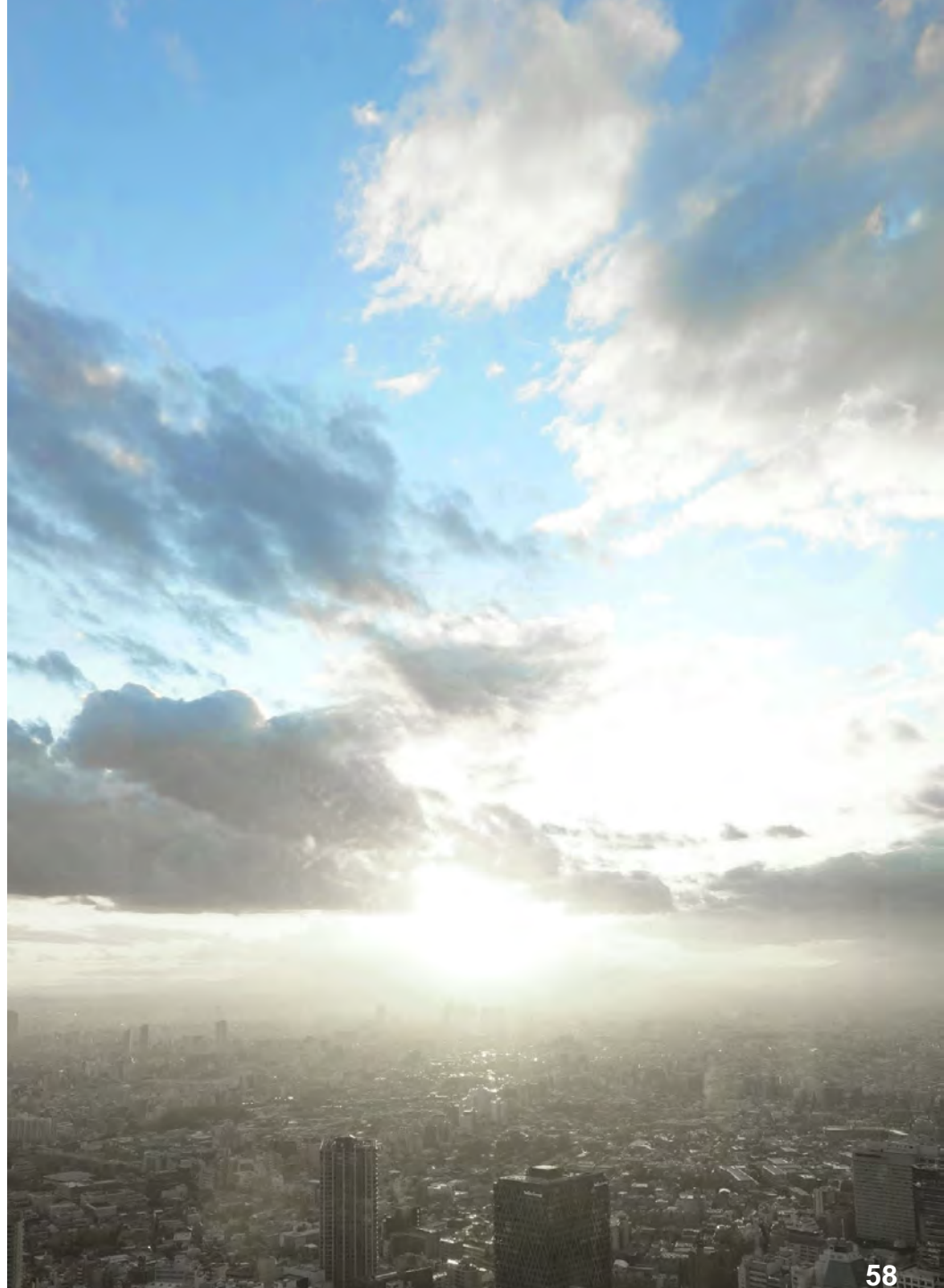


49,710社

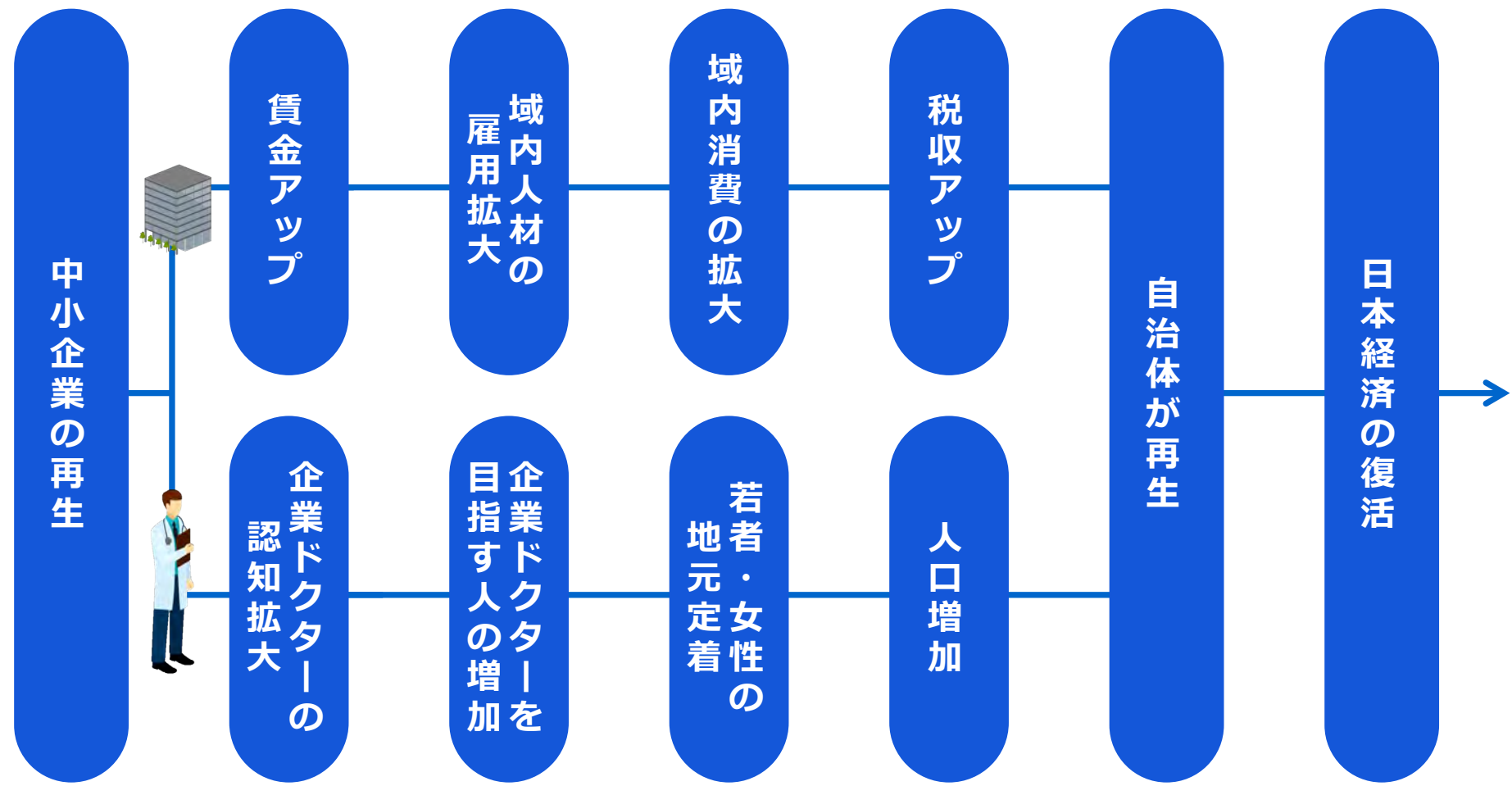
76,923社

200万社

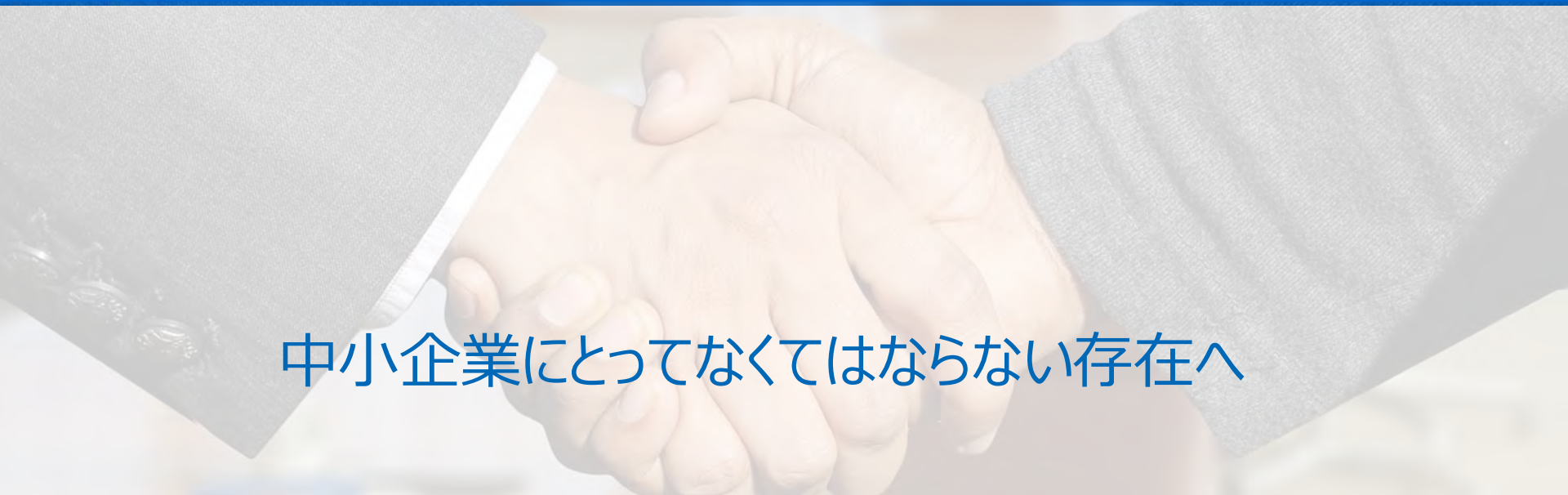
F-Japan構想の先に 見える未来図



復活の好循環を実現



社会貢献ビジネス



中小企業にとってなくてはならない存在へ



「新しいあたりまえ」で、新しい世界を創る

将来の見通しに関する記述についてのご注意

本プレゼンテーション資料に掲載されている弊社の計画、目標、方針、戦略、判断、財務的予測、将来の数値・金額などのうち、歴史的事実でないものは弊社に関わる将来の見通しに関する記述であり、弊社の経営陣が現在入手可能な情報に基づく予測、想定、認識、評価、判断、前提（仮定）等を基礎としています。これらの実現については、様々な要素の潜在的リスクや不確実性を含んでいます。

なお、本プレゼンテーション資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断において行われますようお願い申し上げます。